

はじめに

この「履修の手引」には、岡山大学に入学された皆さんが、教養教育科目を学ぶ上で必要な情報が記載されています。

大学では、高校時代とは違い、入学した当初から自分自身で考え、選び、行動することが求められます。大学で学ぶということは、自ら学ぶ、自主的に学ぶ態度、習慣をしっかりと身につけていくことです。

例えば、授業時間割でみると、高校ではあらかじめ時間割のほとんどが決められ、選択の余地はあまりなかったと思いますが、大学は、多くの授業科目の中から、一定のルールにのっとって自分の勉強したい科目を調べ、選び、届け出、確認するといった作業を自分の意思で責任を持って行わなければなりません。

岡山大学では、学部・学科・専攻ごとに「進級・卒業に必要な単位数」が定められています。この条件を満たさないと、進級や卒業ができなくなりますので、この「履修の手引」及び学部の「学生便覧」等を熟読した上に、各授業科目の内容が掲載された「シラバス」を活用して、納得のいく学修計画を立ててください。

掲 示 の 確 認

学生の皆さんへの連絡は、基本的に掲示によって行います。教養教育科目に関する掲示は、一般教育棟 A 棟 1 階掲示板により行いますので、1 日 1 回は確認するようにしてください。

教養教育科目「授業概要（シラバス）」や「履修の手引・授業時間表」は、岡山大学のホームページ（HP）でも見ることができます。

PC から

<http://www.okayama-u.ac.jp/>

→ 「在学生・保護者の方」 → 「シラバス」

→ 「履修・成績等」 → 「教養教育履修の手引」

→ 「履修・成績等」 → 「教養教育授業時間表」

もくじ

はじめに	1
------------	---

巻 頭

主要なスケジュール	4
平成28年度 教養教育科目 授業日程	5

1. 岡山大学における教育

1-1 岡山大学の理念・目的・目標	6
1-2 岡山大学における学士課程教育構築の取り組み	7
1-3 岡山大学の教育課程	9
1-4 大学で学ぶために	11

2. 岡山大学における学び

2-1 学年暦	13
2-2 学年と学期	13
2-3 授業日程と授業時限	13
2-4 単位の基準	14
2-5 成績の評価	14
2-6 特別な単位の認定	17
2-6-1 入学前の既修得単位の認定	
2-6-2 放送大学の修得単位の認定	
2-6-3 外部検定試験による単位の認定	
2-6-4 留学による単位の認定	
2-6-5 他の大学・高等専門学校等との単位互換協定に基づく修得単位の認定	

3 教養教育の学び

3-1 岡山大学ディプロマポリシー（DP）と教養教育DP要素	22
3-2 ガイダンス科目	23
3-3 主題科目	23
3-4 個別科目	24
補習教育	24
3-5 外国語科目	26
ALC NetAcademy2の進め方（学生用）	32
プレ上級英語・上級英語リスト	37
（平成24年度以降入学者用）	
副専攻コース対象英語科目と講義番号	
（平成24年度以降入学者用）	44

4 授業の履修手続き

4-1 履修登録に必要なもの	46
4-2 教養教育科目授業時間表の見方	46
4-3 履修登録のしかた	47
4-4 教養教育科目の抽選について	48
4-5 履修登録のルール	49
(1) 教養教育科目授業時間表	
(2) 全学部共通の注意事項	
(3) 各科目の履修上のルール	
①ガイダンス科目 ②主題科目・個別科目 ③外国語科目	
(4) 他学部が開講する専門教育科目の履修について	

5 受講上の注意

5-1 教室	53
5-2 授業に関する連絡	53
5-3 教室変更	53
5-4 休講・補講	54
5-5 公欠・準公欠・その他の欠席	54
5-6 レポートの提出	55

もくじ

6 試験及び成績の評価

6-1	学期末試験・受験資格	56
6-2	受験心得	56
6-3	不正行為	56
6-4	受験延期願（追試験）	57
6-5	成績の通知	58
6-6	成績評価に関する質問・疑問の受付について	59

7 学びのサポート

7-1	教科書の購入方法	60
7-2	教科書の活用方法	60
7-3	大学内で自主的に学習したいとき	60
7-4	授業が分からない、授業について質問があるとき	61
7-5	外国語をもっと学習したいとき	61
7-6	授業評価アンケート	62

8 教養教育科目授業時間表

教養教育科目授業時間表に関する注意事項	64
「スポーツ演習」内容一覧	66
第1学期	68
第2学期	81
第1学期集中・第2学期集中・夏季集中	97
その他（学期またがり・特別）	98
第3学期	99
第4学期	115
第3学期集中・第4学期集中・冬季集中・春季集中	129
すべて英語で行われる授業	130
学部開講専門教育科目（専門基礎科目・専門科目）	132
（開講学部以外の学生が履修し単位を修得した場合に、教養教育科目として取り扱うもの）	

巻末資料

平成28年度 教養教育科目 開講授業科目一覧	140
学内案内図・教室配置図	
津島キャンパス	150
鹿田キャンパス	174
よくある質問	179
学生の通学が困難となる事由が発生した場合における授業等の取扱いについて	180
欠席届	182
ナンバリングコードについて	183

主要なスケジュール

年間の大学の行事と入学当初の大事なスケジュールを示しています。よく確認してください。

*** 平成28年度(2016)学年暦・行事 ***

年月日	学年暦	行事
4月 1日(金)	学年始め	新入生オリエンテーション ※時間・場所については、【See→「入学案内」9頁】
4月 1日(金)～3日(日)		新入生履修相談会 ※時間・場所は新入生オリエンテーション時に案内します。
4月 2日(土)	入学式	新入生オリエンテーション ※時間・場所については、【See→「入学案内」9頁】
4月 3日(日)		全学統一TOEIC-IP ※時間・場所については、【See→「入学案内」10頁】
4月 4日(月)		第1学期授業開始 全学統一TOEIC-IP(追試) 新入生教養教育科目抽選カード提出締切
4月 5日(火), 6日(水), 8日(金), 9日(土), 12日(火)		新入生健康診断 【See→「入学案内」11頁】
4月10日(日)		教養教育科目(第2学期・夏季集中開講)抽選結果発表 英語クラス分け結果発表
4月中旬		第1・2学期, 夏季集中 履修登録【学務システム(Web登録:学内パソコン)】
5月下旬		《第1学期末試験》授業時間内で適宜実施
6月 3日(金)		第2学期授業開始
7月下旬		《第2学期末試験》授業時間内で適宜実施
8月1日(月)～9月30日(金)	夏季休業	
8月下旬～9月下旬		教養教育科目抽選登録(第3・4学期, 冬季集中・春季集中開講)【Web登録:学外パソコンからも可】
9月末		教養教育科目(第3・4学期, 冬季集中・春季集中開講)抽選結果発表
9月中旬～10月上旬		第3・4学期, 冬季集中・春季集中 履修登録【学務システム(Web登録:学内パソコン)】
10月 3日(月)		第3学期授業開始
11月下旬		《第3学期末試験》授業時間内で適宜実施
12月 2日(金)		第4学期授業開始
12月10日(土)		全学統一TOEIC-IP(平成28年度入学生)
12月11日(日)		全学統一TOEIC-IP(平成27年度入学生)
12月25日(日)～ 平成29年1月4日(水)	冬季休業	
1月13日(金)		大学入試センター試験実施に伴う臨時休講
2月上旬		《第4学期末試験》授業時間内で適宜実施
2月15日(水)～3月31日(金)		春季休業
2月下旬～3月中旬		教養教育科目抽選登録(次年度第1・2学期, 夏季集中開講)【Web登録:学外パソコンからも可】
3月下旬		教養教育科目(次年度第1学期開講)抽選結果発表
3月24日(金)	学位記授与式	
3月31日(金)	学年終了	

巻頭

1 岡山大学に
おける教育

2 岡山大学に
おける学び

3 教養教育の
学び

4 授業の
履修手続き

5 受講上の
注意

6 試験及び
成績の評価

7 学びの
サポート

8 教養教育科目
授業時間表

巻末資料

平成28年度教養教育科目授業日程計画

曜日 月	日							備 考	曜日 月	日							備 考
	日	月	火	水	木	金	土			日	月	火	水	木	金	土	
4 月						1	2	1日 新入生オリエンテーション	10 月							1	3日 第3学期授業開始
	3	4	5	6	7	8	9	2日 入学式		2	3	4	5	6	7	8	10日 体育の日
	10	11	12	13	14	15	16	3日 全学統一TOEIC-IP		9	10	11	12	13	14	15	
	17	18	19	20	21	22	23	4日 第1学期授業開始		16	17	18	19	20	21	22	
	24	25	26	27	28	29	30	29日 昭和の日		23	24	25	26	27	28	29	
5 月	1	2	3	4	5	6	7	3日 憲法記念日	11 月			1	2	3	4	5	3日 文化の日
	8	9	10	11	12	13	14	4日 みどりの日		6	7	8	9	10	11	12	4日～6日 大学祭
	15	16	17	18	19	20	21	5日 こどもの日		13	14	15	16	17	18	19	
	22	23	24	25	26	27	28	注:30日 金曜日の授業を行う		20	21	22	23	24	25	26	23日 勤労感謝の日
	29	30	31							27	28	29	30				注:29日 金曜日の授業を行う
6 月				1	2	3	4	3日 第2学期授業開始	12 月					1	2	3	2日 第4学期授業開始
	5	6	7	8	9	10	11			4	5	6	7	8	9	10	10日 全学統一TOEIC-IP (平成28年度入学生)
	12	13	14	15	16	17	18			11	12	13	14	15	16	17	11日 全学統一TOEIC-IP (平成27年度入学生)
	19	20	21	22	23	24	25			18	19	20	21	22	23	24	23日 天皇誕生日
	26	27	28	29	30					25	26	27	28	29	30	31	25日～1月4日 冬季休業
7 月						1	2		1 月	1	2	3	4	5	6	7	1日 元日
	3	4	5	6	7	8	9	18日 海の日		8	9	10	11	12	13	14	2日 振替休日
	10	11	12	13	14	15	16	注:29日 月曜日の授業を行う		15	16	17	18	19	20	21	9日 成人の日
	17	18	19	20	21	22	23			22	23	24	25	26	27	28	13日 センター試験実施に伴う 臨時休講
	24	25	26	27	28	29	30			29	30	31					14日・15日 大学入試センター試験
8 月		1	2	3	4	5	6	1日～9月30日 夏季休業	2 月				1	2	3	4	注:9日 月曜日の授業を行う
	7	8	9	10	11	12	13	5日・6日 オープンキャンパス		5	6	7	8	9	10	11	11日 建国記念の日
	14	15	16	17	18	19	20	11日 山の日		12	13	14	15	16	17	18	13日・14日 臨時休講
	21	22	23	24	25	26	27	12日～16日 夏季一斉休業		19	20	21	22	23	24	25	15日～3月31日 春季休業
	28	29	30	31						26	27	28					25日・26日 一般入試(前期日程)
9 月					1	2	3		3 月				1	2	3	4	
	4	5	6	7	8	9	10	19日 敬老の日		5	6	7	8	9	10	11	
	11	12	13	14	15	16	17	22日 秋分の日		12	13	14	15	16	17	18	12日 一般入試(後期日程)
	18	19	20	21	22	23	24			19	20	21	22	23	24	25	20日 春分の日
	25	26	27	28	29	30				26	27	28	29	30	31	24日 卒業式	
第1学期計	8	8	8	8	8	8		授業週数(含試験)	第3学期計	8	8	8	8	8	8		授業週数(含試験)
第2学期計	8	8	8	8	8	8			第4学期計	8	8	8	8	8	8		

↑ 7月29日を含む ↑ 5月30日を含む

↑ 2月9日を含む ↑ 11月29日を含む

- 第1学期 4月1日～6月2日
 - 第2学期 6月3日～7月31日
 - 第3学期 10月1日～12月1日
 - 第4学期 12月2日～2月14日
- 休業日及び臨時休講を示す。
 他の曜日の授業を行う日を示す。
 気象警報等により休講とした場合の補講日を示す。
※補講については、土曜日を含め、授業担当教員が指定した日に行う。

巻頭

- 1 岡山大学における教育
- 2 岡山大学における学び
- 3 教養教育の学び
- 4 授業の履修手続き
- 5 受講上の注意
- 6 試験及び成績の評価
- 7 学びのサポート
- 8 教養教育科目授業時間表

巻末資料

1. 岡山大学における教育

1-1 岡山大学の理念・目的・目標

1. 岡山大学の理念

“高度な知の創成と的確な知の継承”

人類社会を安定的、持続的に進展させるためには、常に新たな知識基盤を構築していかねばなりません。岡山大学は、公的な知の府として、高度な知の創成（研究）と的確な知の継承（教育と社会還元）を通じて人類社会の発展に貢献します。

2. 岡山大学の目的

“人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築”

岡山大学は、「自然と人間の共生」に関わる、環境、エネルギー、食料、経済、保健、安全、教育等々の困難な諸課題に対し、既存の知的体系を発展させた新たな発想の展開により問題解決に当たるといふ、人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築を大学の目的とします。

このため、我が国有数の総合大学の特色を活かし、既存の学問領域を融合した総合大学院制を基盤にして、高度な研究とその研究成果に基づく充実した教育を実施します。

3. 岡山大学の目標

(1) 教育の基本的目標

岡山大学は、大学が要請される最重要な使命である教育活動を充実させます。これまでの高度な研究活動の成果を基礎として、学生が主体的に“知の創成”に参画し得る能力を涵養するとともに、学生同士や教職員との密接な対話や議論を通じて、個々人が豊かな人間性を醸成できるように支援し、国内外の幅広い分野において中核的に活躍し得る高い総合的能力と人格を備えた人材の育成を目的とした教育を行います。

(2) 研究の基本的目標

岡山大学におけるあらゆる活動の源泉は、先進的かつ高度な研究の推進にあります。常に世界最高水準の研究成果を生み出すことをその主題とし、国際的に上位の研究機関となるよう指向します。

(3) 社会貢献の基本的目標

社会が抱える課題を解決するため、総合大学の利を生かし、大学の知や技術の成果を社会に還元すると同時に、積極的に社会との双方向的な連携を目指します。

(4) 経営の基本的目標

研究、教育の目標を効果的に達成するため、大学に賦存する人材、財政、施設設備などの資源をトップマネジメントにより戦略的に利活用します。

(5) 自己点検評価の基本的目標

公的機関として社会への説明責任を果たすため、研究、教育、社会貢献、管理運営のすべての分野において不断の自己点検評価を実施し公表するとともに、その結果を的確に大学改革に反映します。

1. 岡山大学における教育

1-2 岡山大学における学士課程教育構築の取り組み

1. 「学士課程教育構築」？ 「学士力」？

「学士課程教育構築」「学士力」という言葉は、岡山大学独自のものではありません。

「学士課程教育構築」については、2005年1月の文部科学省中央教育審議会による答申「我が国の高等教育の将来像」により、次のように説明されたことが原点となっています。「現在、大学は学部・学科や研究科といった組織に着目した整理がなされている。今後は、教育の充実の観点から、学部・大学院を通じて、学士・修士・博士・専門職学位といった学位を与える課程(プログラム)中心の考え方に再整理していく必要があると考えられる。」これ以降、主に2008年12月「学士課程教育の構築に向けて」および2012年8月「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」の答申を通じ、日本の高等教育における「学部教育」から「学士課程教育」への転換が課題とされてきました。

「学士力」は、これらの答申の中で、学生の学修分野にかかわらず、大学が社会に送り出す卒業生に保証すべき基本的な能力として示されています。

岡山大学では、2008年の答申直後から、本学の学士課程教育構築に向けた取り組みを開始し、まず、後で述べる5つの基本的な能力を学士力と定め、学位授与の方針(ディプロマポリシー、DP)の中で、学士課程教育における人材育成の目標としました。続いて、各学部・学科における教育によってこの目標を達成するための方針として「教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー、CP)」、本学の教育と受験生とのマッチングのため、岡山大学が求める人材を示す「入学者受入れの方針(アドミッションポリシー、AP)」を定め、公表しています。

この後は、本学の目指す学士課程教育を実質化し、検証し、質の向上を目指してその方策を検討・実行していくこととなります。これが、岡山大学における「ディプロマポリシーを起点とした、学士課程教育構築」の取り組みの状況です。

2. 岡山大学の「学士力」

岡山大学は、ディプロマポリシーで「教養」「専門性」「情報力」「行動力」「自己実現力」の5つを学士力と定め、これを身につけた学生を卒業生として送り出すことを宣言しています。

岡山大学 5つの「学士力」(岡山大学ディプロマポリシー 2010年4月19日学長裁定 より)

人間性に富む豊かな教養 【教 養】

自然や社会の多様な問題に対して関心を持ち、主体的な問題解決に向けての論理的思考力・判断力・創造力を有し、先人の足跡に学び、人間性や倫理観に裏打ちされた豊かな教養を身につけている。

目的につながる専門性 【専門性】

専門的学識と時代を担う技術を身につけていると共に、それらと自然・社会とのつながりを意識し、社会に貢献できる。

効果的に活用できる情報力 【情報力】

必要に応じて自ら情報を収集・分析し、正しく活用できる能力を有すると共に、効果的に情報発信できる。

時代と社会をリードする行動力 【行動力】

グローバル化に対応した国際感覚や言語力と共に、社会生活に求められるコミュニケーション能力を有し、地球規模から地域社会に至る共生のために、的確に行動できる。

生涯に亘る自己実現力 【自己実現力】

スポーツ・文化活動等に親しむことを含めて、自立した個人として日々を享受する姿勢を一層高め、生涯に亘って自己の成長を追求できる。

※各学部・学科でも、これを基礎とした独自の学士力を、各学部・学科のディプロマポリシーに定めています。

1. 岡山大学における教育

ディプロマポリシーで示す学士力を身につけられるよう、効果的に教育するためのカリキュラムポリシーを定めています。

岡山大学カリキュラムポリシー（2012年11月29日学長裁定 より）

岡山大学は、本学のディプロマポリシーに掲げる学士力（人間性に富む豊かな教養、目的につながる専門性、効果的に活用できる情報力、時代と社会をリードする行動力、生涯に亘る自己実現力）を備え、グローバル化社会に対応できる人材を育成するため、教養教育科目および専門教育科目を提供しています。教養教育科目は、全学部の学生が共通に受ける授業と位置付け、学生自身の専門に偏ることのないよう、幅広い学問領域の科目群の履修を求めるカリキュラムを設定しています。また、専門教育科目は、学生が属する学部・学科等に特有の授業内容で構成され、各学部・学科等の教育目的に則した科目群の履修を求めるカリキュラムを設定しています。これら教養教育科目ならびに専門教育科目を体系化したカリキュラムを編成し、学生に提供します。

※各学部・学科でも、これを基礎とし、各学部・学科のカリキュラムポリシーを定めています。

また、学生は、主体的に問題を発見し、解を見いだしていく能動的な学修習慣を身につけることが重要です。そのためには、①授業の予習（資料の下調べや読書、思考、学生同士のディスカッション等）、②授業の受講（教員の直接指導、その中での教員と学生、学生同士の対話や意思疎通）、③授業の復習（授業内容の確認や理解の深化のための探求等）を通して主体的な学修に要する総学修時間の確保が不可欠です。授業の受講のためには、例えば講義の場合、その授業時間の倍の時間を、予習、復習に充てることを実践してください。

3. ディプロマポリシーに定める学士力の達成度検証

当然、大学はこれらの学士力を備えた学生を育成するために、必要な教育課程を編成し、実施しなければならず、同時に、学生にも、学士力達成を目標として自己の学びを深化させていくことが求められます。

しかし、学生がこれらの学士力を達成しているかどうかは、修得した科目や単位数だけでは容易に検証できないことから、岡山大学では、これを可視化するためのシステムを構築し、これを、岡山大学学士課程教育構築システム（愛称 Q-cumシステム）と名付けました。

4. 学士課程教育構築システム(Q-cumシステム)

Q-cumシステムでは、各学生が履修した科目と学士力との関連性から、学士力評価チャートが生成できます。学生は、オンライン上で、また、印刷帳票を出力して、現在の学士力達成度を視覚的にとらえ、学習目標の設定に役立てることができます。

Q-cumシステムは、学生にとっては自己の学士力達成度を確認するためのツールであり、それと同時に、大学にとっては、学生が、卒業までに本学が定めたディプロマポリシー上の学士力を満たすために適切なカリキュラムや教育内容を提供しているかを検証するためのツールでもあります。

岡山大学では、このシステムを活用し、持続的なカリキュラム改善のためのPDCAサイクルを稼働させ、教育の質を保証しようとしています。

5. これからの取り組み

先に述べたように、本学における学士課程教育構築のための取り組みは緒に就いたところであり、今回、こうしてQ-cumシステムを通じて学生の皆さんの参画を得て、重要な新段階へ進み始めました。Q-cumシステムによる学士力達成度の検証は、取り組みの一端に過ぎません。

他にも、本学の教養教育を強化する改革や授業科目の新設等も検討されています。

また、現在のQ-cumシステムでは、正課内の科目のみによる学士力達成度を量っているわけですが、大学生活の中で得られる学びの機会、正課内にのみあるものではありません。学士力には、「自己実現力」等、学生が自主的に取り組む課外活動や社会活動を通じても育成される力があります。岡山大学では、将来的には、このような授業科目以外の学生生活で育まれる能力についても、学士力と認めていきたいと考えています。

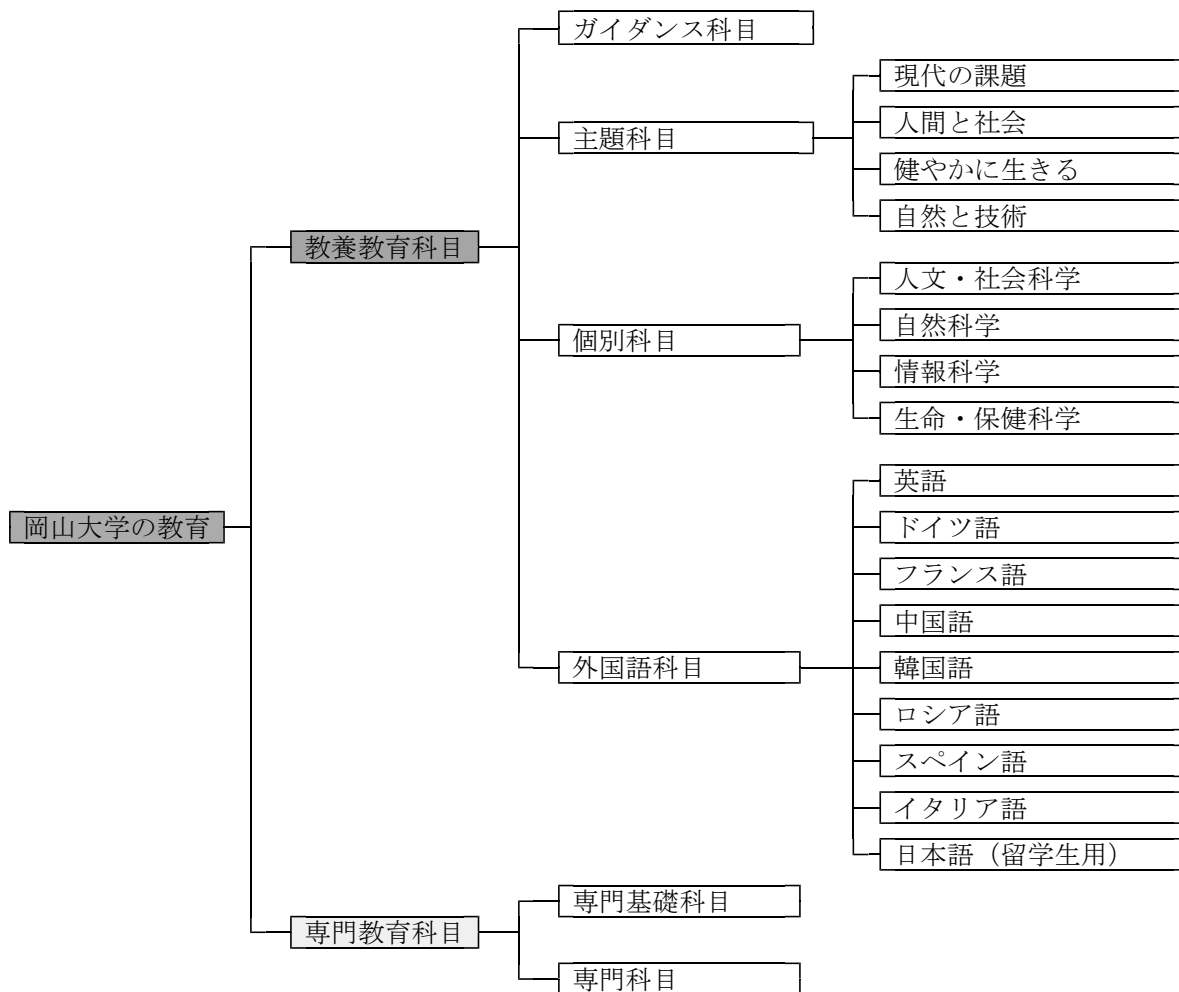
1. 岡山大学における教育

1-3 岡山大学の教育課程

1. 二つの大きなプログラム－「教養教育」と「専門教育」－

岡山大学の教育プログラムの1つは、所属する学部の違いを超えた共通の授業内容から成る「教養教育」と、もう1つは、それぞれの学部固有の授業内容から構成される「専門教育」です。

岡山大学で、皆さんはまず教養教育科目を重点的に履修し、専門教育科目は主に2年次以降に履修していくことになります。



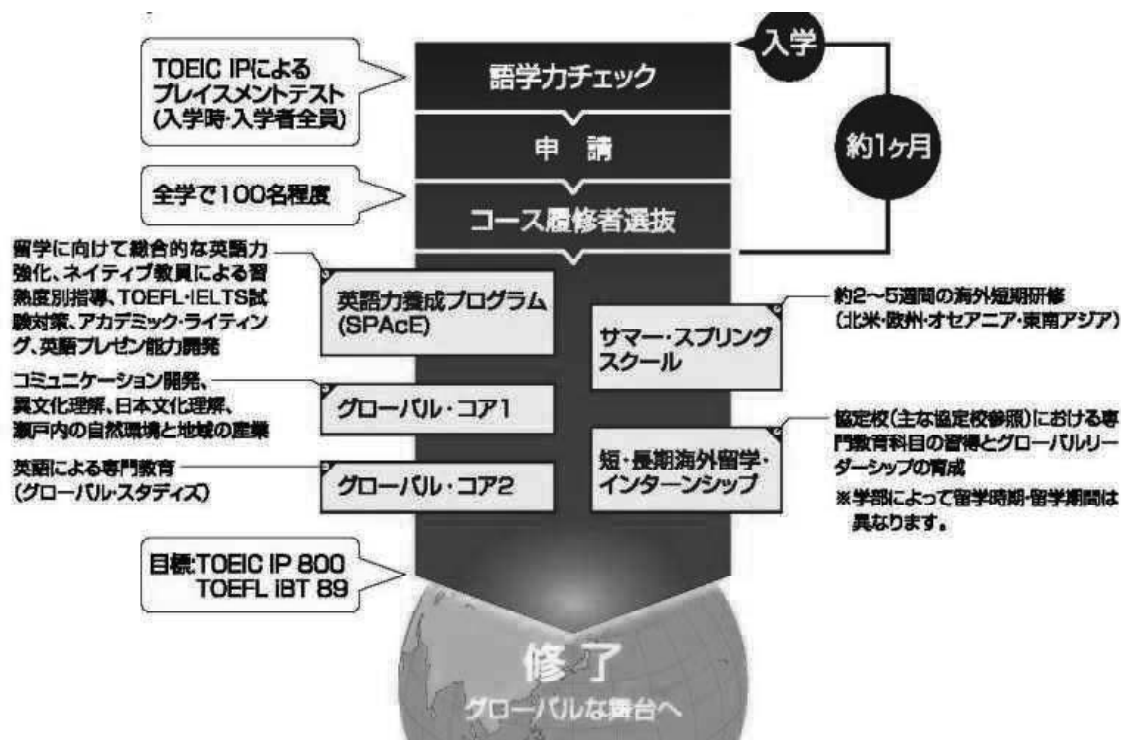
2. グローバル人材育成特別コース（Gコース）

グローバル人材育成特別コース（副専攻）は、岡山大学に入学し、グローバル人材育成特別コースの履修を希望した者の中から、一定の英語力、書類審査等により選抜します。選ばれた学生は、入学した学部に所属しながら、コースのカリキュラムに則して英語力養成、海外研修・留学などのプログラムを履修し、グローバルリーダーシップを育むことができます。

本コースのコア・カリキュラムは、異文化の理解、コミュニケーション力の育成、日本及び地域文化の理解、日本の自然及び地域産業に関する理解などのリベラルアーツ、並びに最先端のテーマを扱う専門教育科目を骨子として全24単位で構成されています。

1. 岡山大学における教育

グローバル人材育成特別コースの全体像



3. 副専攻コース

岡山大学副専攻コースとは、学生の皆さんが所属する学部や学科等の専門分野で学習した知識を、さらに広い視野で有効に活かすことのできる能力を養ってもらうために、各学部が定めている教育課程(カリキュラム)とは別の教育課程として設けたもので、全25コースがあります。(平成28年度入学者は全21コース)

コース名	コース名	コース名
英語コース	現代市民法専攻コース	システムマネジメントコース
日本語教育コース	公共政策専攻コース	環境科学コース
ドイツ語コース	数学コース	廃棄物マネジメントコース※
フランス語コース	物理学基盤コース	農芸化学コース
中国語コース※	物質科学コース	応用植物科学コース
哲学芸術学コース※	生物科学コース	応用動物科学コース
行動科学コース※	地球科学コース	環境生態学コース
教育科学コース	国際保健コース	※のコースは平成27年度入学まで
小学校 CST コース	放射線安全管理・応用学コース	

【履修対象者】

副専攻コースの履修対象者は、次の学部の学生で、所属学部の学習において優れた成績を修めている者としてします。

各学部が定める判定基準は、副専攻コース履修案内に記載しています。

文学部・教育学部・法学部(昼間コース)・経済学部・理学部
工学部・農学部・マッチングプログラムコース

また、コースによっては、上記以外に、入学年度・所属学部等の条件があります。

1. 岡山大学における教育

【履修の申請時期】

全コースとも、申請の時期は、**2年次の7月**です。
コースによっては、申請前の1年次第1学期から履修が始まるものもあります。

【履修方法等】

詳細は、本学のホームページへ掲載していますので確認してください。

<http://www.okayama-u.ac.jp> → 「在学生・保護者の方」 → 「履修・成績等」 → 「副専攻コース」

また、ホームページの内容を掲載している冊子「副専攻コース履修案内」を一般教育棟A棟2階の学務企画課教育支援グループ及び学部の教務担当窓口にて備え付けています。

【その他】

副専攻コースについて分からないことがあったら、一般教育棟A棟2階の学務企画課教育支援グループで相談してください。

4. ナンバリングコード

ナンバリングコードとは各授業科目の分野、対象学生及び授業内容のレベル等を分類し、特定の記号や番号を付すことで教育課程の体系性を明示するコードのことです。

岡山大学のナンバリングコードは、「AREA t TGET x pq W」の13桁で構成されており、「AREA=分野」「t=授業形態」「TGET=対象学生」「x=レベル」「pq=授業を識別するための連番」「W=留意事項の有無」の6つのカテゴリーに区別されます。各カテゴリーの詳細については「巻末資料 (P.183～)」をご覧ください。

なお、ナンバリングコードは各授業科目のシラバスに掲載されています。詳細については、WEBシラバスで確認してください。

1-4 大学で学ぶために

1. 資料に目を通す

大学では、自分で授業を選び、自主的に学んでいく姿勢を持たなくてはなりません。そのため資料として、次のようなものが用意されています。

- ・『教養教育科目 履修の手引・授業時間表』（本冊子）
- ・各学部の『学生便覧』または『履修の手引』※名称は学部により異なります。
- ・各学部の『授業時間割』※名称は学部により異なります。
- ・『授業概要（シラバス）』※名称は学部により異なります。

なお、シラバスには、次のとおり2種類のシラバスがあります。

教養教育科目 シラバス	本学のホームページから閲覧することができます。 http://www.okayama-u.ac.jp/ → 「在学生・保護者の方」 → 「シラバス」 このWebシラバスは、必要に応じて教員が随時内容を更新します。冊子のものより最新となりますので、確認するようにしてください。 また、今年度開講する全ての教養教育科目を掲載している冊子を一般教育棟A棟2階学務企画課教育支援グループおよび各学部の教務学生担当の窓口にて備え付けています。
----------------	---

1. 岡山大学における教育

各学部シラバス	各学部ごとに作成したもので、専門教育科目に加え、今年度開講する教養教育科目のうち、当該学部の学生が履修可能なもののみを抽出し、掲載しています。ただし、学部によってはWeb上での閲覧のみとしている場合があります。
---------	---

シラバスには、授業担当教員名の他、ナンバリングコード、科目カテゴリー、オフィスアワー、授業の概要、学習目標、授業計画、授業時間外の学習（予習・復習）方法、授業内容の前提となる知識、授業形態・使用機器、教科書、参考書等、成績評価、研究活動との関連、JABEEとの関連および備考／履修上の注意などが記載してあります。シラバスは、皆さんが授業科目を履修する際、準備学習等を進めるための基本となるものです。また、授業の内容を事前に把握できるので、計画的・体系的な授業科目の選択が可能となります。

皆さんが、大学を卒業するためには、それぞれの所属する学部学科等によって決められている教養教育科目及び専門教育科目の卒業要件単位数を満たさなければなりません。

そのために、自分で履修計画を立てなければなりません。まず自分の時間割をつくる必要があります。大学では、これまでと違って自由に授業を選べるわけですから、ひとりひとり違う時間割があることとなります。

受けてみたい授業が決まったら、履修の手続きが必要になりますが、必ず受けなければならない授業（必修科目）などが、学部学科等によって決まっているので、注意してください。

2. 時間割をつくる

時間割と授業概要（シラバス）を見て受講する予定の授業を選びます。

3. 授業の登録

受ける授業が決まったら、学内のパソコンでWebによって履修科目を登録します。Web履修登録の入力期間は、学部により異なりますので、掲示（所属学部の掲示板）に注意してください。

4. 掲示

休講・補講・試験に関する情報などは、掲示によってお知らせします。教養教育科目については一般教育棟A棟1階の掲示板で確認するようにしてください。

補完的に岡山大学ホームページやWEB掲示板に情報を掲載します。

5. その他

教養教育科目について分からないことがあったら、一般教育棟A棟2階の学務企画課教育支援グループで相談してください。

2. 岡山大学における学び

2-1 学年暦

岡山大学の一年間は、高校と同じ4月から翌年3月までの**年度方式**をとっています。

平成28年度の行事予定である学年暦や皆さんに関係する大事なスケジュールは4ページの主要なスケジュールにあります。

2-2 学年と学期

岡山大学では、平成28年度から、1学年を4分割する**4学期制**を導入しました。多くの授業は、1科目について15回行うことを基本としていて、学期ごとに完結し、4年ないし6年にわたる一貫教育を行っています。この4学期制の採用により、短期間の集中的な学習による履修効果の向上および授業科目数の増加による選択の幅の拡大等を図っています。

学 年	4月 1日 ~ 3月31日 (翌年)
第1学期	4月 1日 ~ 6月 2日
第2学期	6月 3日 ~ 7月31日
夏季休業	8月 1日 ~ 9月30日
第3学期	10月 1日 ~ 12月 1日
第4学期	12月 2日 ~ 2月14日 (冬季休業：12月25日~1月4日)
春季休業	2月15日 ~ 3月31日

2-3 授業日程と授業時限

岡山大学の授業は、1科目15回が基本です。なお、期末試験を行う場合は16回となります。

また、1回の授業時間（1時限）は60分で、原則として1日7時限（夜間主コースは2時限）の授業が行われます。時限ごとの授業時刻は次のとおりです。

1時限目	8：40 ~ 9：40
2時限目	9：50 ~ 10：50
3時限目	11：00 ~ 12：00
4時限目	12：50 ~ 13：50
5時限目	14：00 ~ 15：00
6時限目	15：10 ~ 16：10
7時限目	16：20 ~ 17：20
8時限目	17：30 ~ 18：30

※原則として7時限までの開講としますが、授業の性質や時間割の都合上、8時限目に授業が開講される場合があります。

なお、授業科目によっては、時限を通して行うものや週2回開講するもの、集中講義で行うものなどがありますので、注意してください。

2. 岡山大学における学び

2-4 単位の基準

大学での履修は単位制度を基本としています。

1単位は、教員が教室等で授業を行う時間及び学生が事前・事後に教室外において準備学習・復習を行う時間の合計で標準45時間を要する教育内容をもって構成されています。

ただし、単位数は、個々の授業の種類や形態によって異なります。

岡山大学の教養教育科目については、次の基準により1単位が設定されています。なお、「大学の授業による学習時間」には期末試験に要する時間を含みません。

授業の種類・方法	大学の授業による学習時間	授業時間外の学習時間
講義	15時間	30時間
演習	15～30時間	30～15時間
実験	45時間	0時間
実習	30時間	15時間

通常、講義科目1単位を修得するためには、1回1時間の授業に15回出席し、当該授業に関する自学・自習・レポート作成等を行い、さらに試験等に合格することが必要です。

2-5 成績の評価

岡山大学ではGPA制度を導入しています。GPAとは、Grade Point Average（グレード・ポイント・アベレージ）の略で、欧米で一般的に行われている成績評価制度のことです。

GPA制度の成績の表し方とGP（グレード・ポイント）の換算は次のとおりです。

なお、成績の評価（評点）とGPとの関連性をより厳格にするため、GPの算出方法が平成28年度から変更されました。ただし、平成27年度までに履修した科目のGPは、従来どおりの方法により算出されます。

評語	GP H28以降に履修する科目	GP H27までに履修した科目	評点（整数）	基準等
A+	欄外のGP算出方法を参照	4	90～100点	合格（単位を授与する。）
A		3	80～89点	
B		2	70～79点	
C		1	60～69点	
F	0	0	0～59点	不合格（単位を授与しない。）
W	対象外	対象外	付さない	履修登録後において、本学が別に定める履修取消期間内に、履修取消手続きを行った授業科目
認定	対象外	対象外	付さない	① 入学前の既修得単位及び転学、編入学等の既修得単位について、学部・研究科の判断により、本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を授与する場合 ② 他の大学等において履修し修得した授業科目の単位又は大学以外の教育施設等における学修について、学部・研究科の判断により、本学における授業科目の履修により修得した

2. 岡山大学における学び

				ものとみなし、単位を授与する場合 ② 他の大学等において履修し修得した授業科目の単位又は大学以外の教育施設等における学修について、学部・研究科の判断により、本学における授業科目の履修により修得したものとみなし単位を授与する場合で、評点により評価しがたい場合
修了	対象外	対象外	付さない	本学の開設する授業科目のうち、授業の特殊性に鑑み、評点により評価しがたいもの、若しくは一定の到達度をもって評価し単位を授与する場合
未修得	対象外	対象外	付さない	修了の評語をもって合格の評価とする授業科目で、不合格（単位を授与しない。）とする場合

平成28年度以降に履修した科目のGP（グレードポイント）算出方法

$$GP = \frac{(\text{評点} - 55)}{10}$$

※ただし、評語「F」（不合格：評点60点未満）のGPは0とします。また、「W」、「認定」、「修了」、「未修得」については、対象外としGPを付しません。

1. GPA制度導入の目的

- ①成績不振の学生をいち早く発見し、アカデミック・アドバイザーの教員を中心に適切な指導を行うこと。
- ②GPAを目安にして学生に履修登録科目数の自主規制を促し、計画的な履修を促すこと。
- ③学生に対して修得単位数だけでなく、個々の単位のレベルアップを図るよう喚起すること。

2. GPAの算出方法

履修登録した科目ごとにGPに単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割って算出します。

$$GPA = \frac{(\text{履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目のGP}) \text{の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}$$

GPAの実際の計算方法例

科目名	単位数 (a)	評点	評語	GP (b)	a×b
〇〇学概論 (H28以降に履修)	1	90	A+	3.5	3.5
〇〇学要説 (H28以降に履修)	1	77	A	2.2	2.2
□□学演習Ⅰ (H28以降に履修)	0.5	55	F	0	0
□□学演習Ⅱ (H27以前に履修)	1	70	B	2.0	2.0
△△基礎実験 (H27以前に履修)	1	90	A+	4.0	4.0
計	4.5				11.2

上表の学生の場合

履修登録した授業科目の単位数の和 = 4.5

(履修登録した授業科目の単位数×当該授業科目のGP)の和 = 11.2

$$GPA = 11.2 \div 4.5 = \underline{2.6}$$

2. 岡山大学における学び

3. GPAの対象とならない科目

- ・ 評点を示さず，認定または修了によって単位を取得できる科目
- ・ 岡山大学以外で修得した科目を単位として認めたもの
- ・ 各学部によって定められた期間に履修取り消しの手続きを行った科目

2. 岡山大学における学び

2-6 特別な単位の認定

2-6-1 入学前の既修得単位の認定

下記の者については、大学・短大等における既修得単位については認定されることがあります。一部の学部・学科では、専門教育科目の既修得単位についても認めていますので、これらについては各学部の教務学生担当窓口で確認してください。

1. 大学または短期大学を卒業あるいは中途退学した者で、新たに第1年次に入学した者
2. 編入学した者

2-6-2 放送大学の修得単位の認定

岡山大学法学部夜間主コース、経済学部の夜間主コース及び薬学部の学生に対しては、本学が指定した放送大学の開設科目を修得した場合、単位の認定が認められています。詳細については各学部の教務学生担当窓口で確認してください。

2-6-3 外部検定試験による単位の認定

TOEIC, TOEFL又は外国語技能検定試験のスコアや成績により、外国語科目の単位認定を申請することができます。単位認定基準は、19点～21点のとおりです。ただし、一部の学部等の学生については、単位認定の申請を行うことができません。「英語」の単位認定申請の可否については、下表を参照してください。

なお、単位認定の申請手続きは、各学部の教務学生担当窓口で行ってください。

「英語」の単位認定申請の可否

学部等名	平成25年度以降入学者	平成24年度以前入学者	学部等名	平成25年度以降入学者	平成24年度以前入学者
文学部	○	○	歯学部	×	○
教育学部	○	○	薬学部	○	○
法学部	○	○	工学部	○	○
経済学部	○	○	環境理工学部	○	○
理学部	○	○	農学部	○	○
医学部医学科	×	○	マッチングプログラムコース	○	○
医学部保健学科	×	○			

※医学部・歯学部は、「英語」以外の外国語科目についても単位認定を行うことができません。

2-6-4 留学による単位の認定

岡山大学交換留学プログラム(EPOK)など、本学との交流協定に基づき外国の大学に留学した場合などには、留学先大学での修得単位が本学の修得単位として認定されることがあります。詳細については各学部の教務学生担当窓口で確認してください。

2. 岡山大学における学び

2-6-5 他の大学・高等専門学校等との単位互換協定に基づく修得単位の認定

本学との単位互換協定に基づき、他大学や高等専門学校専攻科等の授業科目を履修した場合には、他大学等で修得した単位が本学での修得単位として認定されることがあります。

岡山大学では、岡山県内の大学で構成する「大学コンソーシアム岡山」の単位互換協定に参加しています。これらの単位互換制度については、第1・2学期は4月第1週頃、第3・4学期は7月から9月中旬頃に履修生の募集を行います。募集時期等の詳細については、掲示等でお知らせします。

その他の大学等についても、協定に基づき単位を認定するものがあります。詳細については各学部の教務学生担当窓口で確認してください。

認定については、転学、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて60単位を超えないものとします。

平成25～27年度入学者（夜間主コースを除く。）

外国語の種別	単位認定の対象とする外部検定試験	単位認定基準	単位認定の対象とする授業科目の範囲	認定可能な単位数の上限		
英語	TOEIC 又は TOEIC IP	800点以上	総合英語5(リスニング)－1 総合英語5(リスニング)－2	3単位まで		
	----- 実用英語技能検定(英検)	1級	総合英語5(ライティング)－1 総合英語5(ライティング)－2			
	----- 国際連合公用語英語検定試験(国連英検)	A級	総合英語5(リーディング)－1 総合英語5(リーディング)－2			
	----- TOEFL PBT 又は TOEFL ITP	570点以上	総合英語5(プレゼンテーション)－1 総合英語5(プレゼンテーション)－2			
	----- TOEFL iBT	89点以上				
	----- IELTS	6.5点以上				
	TOEIC 又は TOEIC IP	700点以上	総合英語5(リスニング)－1 総合英語5(リスニング)－2	2単位まで		
	----- TOEFL PBT 又は TOEFL ITP	540点以上	総合英語5(ライティング)－1 総合英語5(ライティング)－2			
	----- TOEFL iBT	74点以上	総合英語5(リーディング)－1 総合英語5(リーディング)－2			
	----- IELTS	6.0点以上	総合英語5(プレゼンテーション)－1 総合英語5(プレゼンテーション)－2			
	TOEIC 又は TOEIC IP	650点以上	総合英語5(リスニング)－1 総合英語5(リスニング)－2	1単位まで		
	----- 実用英語技能検定(英検)	準1級	総合英語5(ライティング)－1 総合英語5(ライティング)－2			
----- 国際連合公用語英語検定試験(国連英検)	B級	総合英語5(リーディング)－1 総合英語5(リーディング)－2				
----- TOEFL PBT 又は TOEFL ITP	520点以上	総合英語5(プレゼンテーション)－1 総合英語5(プレゼンテーション)－2				
----- TOEFL iBT	68点以上					
ドイツ語	ドイツ語技能検定試験(独検)	3級以上	ドイツ語初級I－1(文法) ドイツ語初級I－2(文法) ドイツ語初級I－1(読本) ドイツ語初級I－2(読本) ドイツ語初級II－1(文法) ドイツ語初級II－2(文法) ドイツ語初級II－1(読本) ドイツ語初級II－2(読本) ドイツ語初級I－1(総合) ドイツ語初級I－2(総合) ドイツ語初級II－1(総合) ドイツ語初級II－2(総合) ドイツ語中級	8単位まで		
		4級	ドイツ語初級I－1(文法) ドイツ語初級I－2(文法) ドイツ語初級I－1(読本) ドイツ語初級I－2(読本) ドイツ語初級II－1(文法) ドイツ語初級II－2(文法) ドイツ語初級II－1(読本) ドイツ語初級II－2(読本) ドイツ語初級I－1(総合) ドイツ語初級I－2(総合)		4単位まで	
		5級	ドイツ語初級I－1(文法) ドイツ語初級I－2(文法) ドイツ語初級I－1(読本) ドイツ語初級I－2(読本)			2単位まで
		フランス語	実用フランス語技能検定試験(仏検)	3級以上	フランス語初級I－1(文法) フランス語初級I－2(文法) フランス語初級I－1(読本) フランス語初級I－2(読本) フランス語初級II－1(文法) フランス語初級II－2(文法) フランス語初級II－1(読本) フランス語初級II－2(読本) フランス語初級I－1(総合) フランス語初級I－2(総合) フランス語初級II－1(総合) フランス語初級II－2(総合) フランス語中級	8単位まで
				4級	フランス語初級I－1(文法) フランス語初級I－2(文法) フランス語初級I－1(読本) フランス語初級I－2(読本) フランス語初級II－1(文法) フランス語初級II－2(文法)	

巻頭

1 岡山大学に
おける教育

2 岡山大学に
おける学び

3 教養教育の
学び

4 授業の
履修手続き

5 受講上の
注意

6 試験及び
成績の評価

7 学びの
サポート

8 教養教育科目
授業時間表

巻末資料

			フランス語初級Ⅱ-1 (読本) フランス語初級Ⅱ-2 (読本) フランス語初級Ⅰ-1 (総合) フランス語初級Ⅰ-2 (総合)	
		5級	フランス語初級Ⅰ-1 (文法) フランス語初級Ⅰ-2 (文法) フランス語初級Ⅰ-1 (読本) フランス語初級Ⅰ-2 (読本)	2単位まで
中国語	漢語水平考試 (HSK) (筆記試験のみ)	3級以上	中国語初級Ⅰ-1 (文法) 中国語初級Ⅰ-2 (文法) 中国語初級Ⅰ-1 (読本) 中国語初級Ⅰ-2 (読本) 中国語初級Ⅱ-1 (文法) 中国語初級Ⅱ-2 (文法) 中国語初級Ⅱ-1 (読本) 中国語初級Ⅱ-2 (読本) 中国語初級Ⅰ-1 (総合) 中国語初級Ⅰ-2 (総合) 中国語初級Ⅱ-1 (総合) 中国語初級Ⅱ-2 (総合) 中国語中級	8単位まで
		2級	中国語初級Ⅰ-1 (文法) 中国語初級Ⅰ-2 (文法) 中国語初級Ⅰ-1 (読本) 中国語初級Ⅰ-2 (読本) 中国語初級Ⅱ-1 (文法) 中国語初級Ⅱ-2 (文法) 中国語初級Ⅱ-1 (読本) 中国語初級Ⅱ-2 (読本) 中国語初級Ⅰ-1 (総合) 中国語初級Ⅰ-2 (総合)	4単位まで
		1級	中国語初級Ⅰ-1 (文法) 中国語初級Ⅰ-2 (文法) 中国語初級Ⅰ-1 (読本) 中国語初級Ⅰ-2 (読本)	2単位まで
韓国語	韓国語能力試験	2級以上	韓国語初級Ⅰ-1 (文法) 韓国語初級Ⅰ-2 (文法) 韓国語初級Ⅰ-1 (読本) 韓国語初級Ⅰ-2 (読本) 韓国語初級Ⅱ-1 (文法) 韓国語初級Ⅱ-2 (文法) 韓国語初級Ⅱ-1 (読本) 韓国語初級Ⅱ-2 (読本) 韓国語初級Ⅰ-1 (総合) 韓国語初級Ⅰ-2 (総合) 韓国語初級Ⅱ-1 (総合) 韓国語初級Ⅱ-2 (総合) 韓国語中級	8単位まで
		1級	韓国語初級Ⅰ-1 (文法) 韓国語初級Ⅰ-2 (文法) 韓国語初級Ⅰ-1 (読本) 韓国語初級Ⅰ-2 (読本) 韓国語初級Ⅱ-1 (文法) 韓国語初級Ⅱ-2 (文法) 韓国語初級Ⅱ-1 (読本) 韓国語初級Ⅱ-2 (読本) 韓国語初級Ⅰ-1 (総合) 韓国語初級Ⅰ-2 (総合)	4単位まで
スペイン語	スペイン語技能検定	4級以上	スペイン語ベーシック1 スペイン語ベーシック2 スペイン語ベーシック3 スペイン語ベーシック4 スペイン語ステップアップ	8単位まで
		5級	スペイン語ベーシック1 スペイン語ベーシック2 スペイン語ベーシック3 スペイン語ベーシック4	4単位まで
		6級	スペイン語ベーシック1 スペイン語ベーシック2	2単位まで
イタリア語	実用イタリア語検定	3級以上	イタリア語ベーシック1 イタリア語ベーシック2 イタリア語ベーシック3 イタリア語ベーシック4 イタリア語ステップアップ	8単位まで

		4級	イタリア語ベーシック1 イタリア語ベーシック2 イタリア語ベーシック3 イタリア語ベーシック4	4単位まで
		5級	イタリア語ベーシック1 イタリア語ベーシック2	2単位まで

- 備考
- 1 成績評価の評語は、「認定」とする。
 - 2 一の授業科目について、同一科目名の繰り返し履修が可能な授業科目を除いて、重複して単位認定を行うことはできない。
 - 3 既に単位を修得済みの授業科目について、同一科目名の繰り返し履修が可能な授業科目を除いて、重複して単位認定を行うことはできない。

3. 教養教育の学び

3-1 岡山大学ディプロマポリシー（DP）と教養教育DP要素

ディプロマポリシー（DP）とは、大学全体や学部・学科等の教育研究上の目的、学位授与の方針を定めたものです。

岡山大学では、大学が育成する人材像を「学位取得のために身につけているべき能力」という面から捉え7つの5項目から成る大学DPを「学生の目線」で作成しています。さらに、学部、学科等ごとにもDPを作成しており、それぞれを関連付けて、大学DPの下、学部DP、学科DP等が一体となる運用を目指しています。

また、教養教育によって育成される人材像（身につけているべき能力）を教養教育DP要素）として作成し、大学DPの項目と対応させています。これによって、個々の教養教育科目の授業内容を大学DP等と関連付けさせることが可能となっています。

大学DP	教養教育DP要素	教養教育DP要素の概要
教 養	人間性・倫理観	先人の足跡に学びつつ、豊かな教養の基礎となる人間性・倫理観を身につける。
	創造力・想像力	新たな発想・発見につながる創造力・想像力を磨く。
	理論的思考・判断力	主体的な問題解決に向けて論理的思考力・判断力を高める。
	幅広い分野への知的関心	自分の目指す専門領域以外の幅広い分野に対して関心をもつ。
	幅広い分野の知識習得	自分の目指す専門領域以外の幅広い分野に関する基礎的知識を身につける。
専 門 性	特定分野のための基礎的能力	自分の目指す専門分野のための基礎的学識・技能を身につける。
情 報 力	情報収集力	多くの情報源の中から、必要とする情報を的確に収集する技能を身につける。
	情報活用能力	得られた情報を正しく分析・活用する能力を高める。
	情報発信力	主張・提案したい情報を適切に発信する能力を身につける。
行 動 力	主体的行動力	課題の遂行や問題の解決に向けて主体的に行動する力を高める。
	国際感覚	グローバル化に対応した国際感覚を身につける。
	言語力	言語を理解する力
言語を運用する力		言語の実際を知る能力を身につける。
自己実現力	自己実現力	自立した個人として生涯に亘って自己成長を追求し続ける能力を身につける。

3. 教養教育の学び

教養教育では、皆さんが自ら考え行動するために必要な知の基本を培うことに重点が置かれています。そのために、教養教育科目には本学ディプロマポリシーに掲げる学士力のうち主として【教養】、【行動力】、【情報力】に関連する多彩な授業科目が開設され、次のような科目区分が設定されています。

教養教育科目には4つの科目区分、すなわち、ガイダンス科目、主題科目、個別科目、外国語科目があり、それぞれのテーマ・分野・言語ごとに複数の授業科目が開設されています。

学生の皆さんは、所属する学部学科等において定められている卒業要件に従って、それぞれの科目区分から授業科目を選んで履修し、卒業に必要な単位を取得するとともに、履修した授業科目に関連した教養教育DP要素に掲げる学士力を習得します。

3-2 ガイダンス科目

ガイダンス科目は、皆さんが大学で主体的かつ能動的に学ぶために必要なスタディ・スキルを実践を通して学習します。また、グループ学習を通してコミュニケーションについても学びます。この授業科目は、教養教育DP要素のうち、「専門性—特定分野のための基礎的能力」、「情報力—情報収集力」、「教養—幅広い分野への知的関心」と主に関連しています。

ガイダンス科目は、各学部あるいは学科・課程・コース単位に当該学部所属学生を対象として開講するもので、他学部学生は履修できません。

3-3 主題科目

主題科目は「現代の課題」、「人間と社会」、「健やかに生きる」及び「自然と技術」の4つの主題（テーマ）によって構成され、それぞれの主題ごとに複数の授業科目を開講しています。これら4つの主題（テーマ）科目には、それぞれ以下に示す教養教育DP要素と関連した授業科目が多く含まれます。

皆さんは、教養教育の中核をなす主題に沿って、知および人間の存在に関わる基本的な問題を総合的に学び、教養教育DP要素に掲げる学士力を習得します。

現代の課題：各学問分野における先端的領域・分野、あるいは事物・事象についての現代的課題に焦点をあてて考察します。教養教育DP要素のうち、「教養—幅広い分野への知的関心」、「教養—幅広い分野の知識習得」、「教養—理論的思考・判断力」と主に関連しています。

キーワード
論理， 真理， パラダイムの転換， 知の創造， 問題の解決

人間と社会：自己とは何か、また他者とどのような関係が成り立つのかを探求し、人間相互の関係において形成される社会の仕組みや文化について考察します。教養教育DP要素のうち、「教養—幅広い分野への知的関心」、「教養—理論的思考・判断力」、「教養—幅広い分野の知識習得」と主に関連しています。

キーワード
自己と他者， 文化， 芸術， 宗教， 歴史， 法， 政治， 経済， 国際関係

健やかに生きる：長寿社会を迎えて、心身共に健康を保ちながら、人間社会の相互関係の中でよりよく生きていくあり方について考察します。教養教育DP要素のうち、「教養—幅広い分野への知的関心」、「教養—幅広い分野の知識関心」、「教養—人間性・倫理観」と主に関連しています。

キーワード
衣食住， 生と死， 医療， 生命倫理， 生命科学， 保健， スポーツ， 福祉

3. 教養教育の学び

自然と技術：地球環境の仕組みを知り、人間が作り出す技術を自然との共生を図りながら、より安全な生活を実現し、これを持続させる方策について考察します。教養教育DP要素のうち、「教養—幅広い分野の知識習得」、「教養—幅広い分野への知的関心」、「教養—理論的思考・判断力」と主に関連しています。

キーワード
地域環境，科学技術，資源，産業，環境問題，技術と倫理，食料，人口

3-4 個別科目

個別科目は4つの分野（人文・社会科学，自然科学，生命・保健科学，情報科学）から構成され，それぞれ以下に示す教養教育DP要素と関連した授業科目が多く開講されています。

皆さんは，個別科目を履修することにより，個別の学問分野の基礎知識や技能を非専門の一般化した観点から学び，教養教育DP要素に掲げる学士力を習得します。

「人文・社会科学」

人文・社会科学関連の授業科目で，教養教育科目授業時間表及びシラバスで指定された時間帯で履修することができます。教養教育DP要素のうち「教養—理論的思考・判断力」，「教養—幅広い分野への知的関心」，「教養—人間性・倫理観」と主に関連しています。

「自然科学」

自然科学関連の授業科目で，教養教育科目授業時間表及びシラバスで指定された時間帯で履修することができます。教養教育DP要素のうち「教養—幅広い分野への知的関心」，「教養—幅広い分野の知識習得」，「教養—理論的思考・判断力」と主に関連しています。

補習教育

高等学校教育と大学教育の円滑な接続を図るため，「初等数学1」，「初等数学2」，「初等物理学1」，「初等物理学2」，「初等生物学1」，「初等生物学2」の6科目を，高等学校の当該科目の未履修者を主な対象として補習授業を行います。ただし，既修者で履修を希望する者についても，定員に余裕があれば，履修を可とします。この授業科目は，教養教育DP要素のうち，「教養—幅広い分野への知的関心，幅広い分野の知識習得」と主に関連しています。

1) 開講期・曜日・時限

第1学期	月曜7限	初等数学1，初等物理学1，初等生物学1
第1学期	木曜7限	初等数学1，初等物理学1，初等生物学1
第2学期	月曜7限	初等数学2，初等物理学2，初等生物学2
第2学期	木曜7限	初等数学2，初等物理学2，初等生物学2

2) 履修対象者・履修対象学部

履修対象者は高等学校において数学Ⅲ，物理，生物を未履修であった者とし，既修者で履修を希望する者についても，対象とします。また，履修対象学部は全学部とします。

3) 単位数及び成績評価

1 授業科目の単位数は0.5単位とし，成績の評価は「修了」の評語をもって単位を授与します。ただし，卒業要件単位としては算入されません。

4) GPA制・上限制・授業評価アンケート

補習授業を卒業要件単位外の授業科目として取り扱うため，GPA制・上限制の対象とはしません。また，補習授業の効果の検証のため，授業評価アンケートの対象とします。

3. 教養教育の学び

「生命・保健科学」

生命・保健科学関連の授業科目で、教養教育科目授業時間表及びシラバスで指定された時間帯で履修することができます。教養教育DP要素のうち、「行動力ー主体的行動力」、「教養ー創造力・想像力」、「自己実現力ー自己実現力」と主に関連しています。

平成25～27年度入学者

1) 健康・スポーツ科学

第2学期、第3学期、第4学期に指定された時限と、通年の水曜日18時から20時に開講する講義の2種類があります。

通年の授業は4月にオリエンテーションを行い、6月15日より講義を開始する授業です。履修希望者はシラバスおよび掲示を確認してください。

2) するスポーツ演習

通常時間帯に開講している各運動領域の実技に加えて、eラーニング（WebClass）を用いたスポーツ理論学習を組み合わせた授業です。

3) みるスポーツ演習

第1、2学期の木曜日7、8限、第3、4学期の木曜日3、4限に開講します。ただし、第1、2学期は連続履修してください。第3、4学期も同様です。調査演習形式の授業ですので、シラバスを確認してください。実践型科目です。

みるスポーツに関わる調査研究テーマを履修者が設定し、テーマに基づきグループを編成し、調査計画を立案し、実際に調査に出かけ、報告書をまとめます。

4) 支えるスポーツ演習

通年集中に開講されている「スポーツ教室・大会開催」、「スポーツ現場でのインターンシップ」および「スポーツ指導アシスタント」の演習形式の授業です。

「スポーツ教室・大会開催」は、スポーツ教室を企画・運営する授業とスポーツ大会等を企画・運営する授業のいずれかとなります。スポーツ系サークルで従来開催しているスポーツ教室等を活動の場にすることもできます。「スポーツ現場でのインターンシップ」は、地域スポーツクラブやプロ・スポーツの現場におけるインターンシップを通して、スポーツ現場を体験的に学習する授業です。「スポーツ指導アシスタント」は、学校や地域のスポーツ指導（部活指導を含む）をサポートし、スポーツ指導も体験する授業です。実践型科目です。

いずれも履修期間は通年集中ですが、4月、5月に企画・運営等について担当者と相談をします。一般教育棟D棟1階のスポーツ教育センターまで来てください。

「情報科学」

大学教育における研究や教育をはじめ、社会人になる上で必須とされる情報リテラシーやICT（Information & Communication Technology）能力などを修得します。

1) 情報リテラシー系科目

情報リテラシー系科目は、教養教育DP要素のうち、「情報力ー情報活用力」、「情報力ー情報収集力」、「情報力ー情報発信力」に加え、「教養1ー幅広い分野の知識習得」、「行動力ー主体的行動力」に関連しています。

情報化社会において、誰でもが必要とされるICTの基本的な知識と技術を修得し、情報機器を的確に活用できる情報リテラシーと正しく情報マナーを身につけることを目標にします。

3. 教養教育の学び

「情報リテラシー」系科目は、以下の3科目により構成し、すべて実習を伴う授業です。

①情報処理入門1（情報機器の操作を含む）では、岡山大学生として学生生活に必要な学内の各種ICTサービスの活用方法、個人情報安全・安心な取り扱い能力、情報セキュリティ脅威への対応能力の向上等の情報リテラシー能力を修得します。

本科目は、個人所有のPCを教室に持ち込んで受講する形式の授業を実施します。

授業の初日に、指定以外の教室を使用することがありますので、掲示に注意してください。また、個人PCを持参できない場合、教室が変更になるので注意してください。

②情報処理入門2（情報機器の操作を含む）では、マイクロソフト社のワードプロセッサ、表計算ソフト、プレゼンテーションツールの利用方法を修得し、文書やプレゼンテーションスライド作成のための実用的な能力を獲得するために情報機器を利用した実習を行います。

③情報処理入門3（情報機器の操作を含む）では、情報機器、インターネットをより有効に活用するために必要な基礎的なハードウェア技術、ソフトウェア技術、及びインターネット技術等を多面的に学修します。

上記①から③の科目は、授業資料の提供や課題提出の管理、事前の予習の実施などに、授業支援システム“WebClass”を利用します。

この授業科目は、1年次を対象とした科目であり、単位を修得できなかった場合の再履修や翌年度以降の履修は、原則としてできません。ただし、「情報処理入門1（情報機器の操作を含む）」のみ、2年次の第一学期に再履修可能です。本科目は教職課程で必須の科目であり、2科目、2単位の取得が必要になります。

2) ICT (Information & Communication Technology) 系科目

ICT系科目は、教養教育DP要素のうち、「情報力ー情報活用力」、「情報力ー情報収集力」、「情報力ー情報発信力」と主に関連しています。

ICT系科目は、高度化するICT社会で要求される高度な教養力の修得を目的とし、情報処理入門で学修した内容をより発展させた授業を実施します。

インターネット技術、ネットワーク技術、認証・暗号・セキュリティ関連技術に加え、プログラム開発の基本技術、IT英語、テレビゲームから見る情報科学、など多彩な内容の授業を実施します。

ICT系科目により、安全、安心にICTを利活用するために必要な情報リテラシー、情報モラルの修得が可能であり、全学部の学生を対象として開講します。

3-5 外国語科目

「英語」

外国語科目の英語は、平成25年度より必修科目のカリキュラムが大幅に変わりました。平成25年度以降入学者の必修科目は「総合英語1」、「総合英語2」、「総合英語3」、「総合英語4」、「総合英語5」です。平成24年度以前入学者の必修科目は、学部教員が担当する授業、「英語(ネイティブ)」、「種別英語」です。

選択科目として、25年度以降入学者は「プレ上級英語」、「上級英語」、「英語特別演習」を、24年度入学者は、上記の3科目に加えて「基礎英語」を履修できます。23年度以前入学者は、「上級英語」、「英語特別演習」、「基礎英語」を履修できます。

外国語科目の英語は、教養教育DP要素のうち、「行動力ー言語力ー言語を理解する力」、「行動力ー言語力ー言語を運用する力」、「行動力ー国際感覚」と主に関連しています。

3. 教養教育の学び

【平成25～27年度入学者】

●全学統一TOEIC-IPについて

全学統一TOEIC-IPは、入学時（4月）、1年次後半（12月）および2年次後半（12月）に実施します。必ず3回の全学統一TOEIC-IPを受験してください。特に12月実施の全学統一TOEIC-IPは、1年次の後半に履修する「総合英語1～4」、2年次の後半に履修する「総合英語5」の単位認定要件となっていますので、注意して下さい。

(1) 総合英語1

1年次に開講される、ネイティブスピーカーによるスピーキングの授業です。幅広い話題に関して自分の考えを表現できるスピーキング力を養成します。さらに、専門分野に関連して、会話を発展させ適切な応答や要約を行うことができるようスピーキング演習を行います。

(2) 総合英語2

1年次に開講される、リーディングの授業です。様々な分野のエッセイや時事問題を扱う英文を用いてリーディング演習を行います。さらに演習を通じて、学術的な語彙や語法を習得します。

(3) 総合英語3

1年次に開講される、ライティングの授業です。比較、対照、議論、物語などの様々な形式を用いて、構成の整った英文を書く演習を行います。明確で論理的な構成を用いて英文レポートを書く演習を行います。

(4) 総合英語4

1年次に開講される、リスニングの授業です。身近な話題に関するスピーチや平易な講義を理解するリスニング演習を行います。スクリプトを読み、加えて、それに関連するリーディング教材も利用します。第2週目にALCNetAcademy2説明会を行います。

(5) 総合英語5

2年次に開講（医学部医学科と歯学部は1年次後期から開講）される授業です。6種類の授業から各期に2種類選択して履修します。学部によっては、学部独自の授業を行う場合もあります。なお、平成27年度入学者は、履修できる種類がプレゼンテーション、リーディング、ライティング、リスニングの4つになり、選択する必要はありません。

種類名	授業概要
プレゼンテーション	適切な用語やフレーズを用いて明確で論理的なプレゼンテーションを行うために必要な方法を学習します。専門分野に関連するアカデミック・プレゼンテーション演習を行います。
リーディング	人文科学・社会科学・自然科学等の領域別に、概説的な学術書や論文を読みます。
ライティング	専門分野におけるアカデミック・ライティングの形式や文体を学び、明確で論理的な構成を用いてリサーチ・ペーパーを書く演習を行います。
リスニング	学術的な内容のスピーチや講義のリスニング演習を行い、幅広い話題に関する議論を理解するリスニング力を養います。TOEFLのリスニング練習問題なども利用します。
自律学習	学生は毎回の授業に出席し、教員の指導のもと、各自の学習プログラムに沿って学習を進めます。この授業は、高い動機づけを持ち授業外においても継続して英語学習を行う学生のための科目です。基本的に授業は英語を用いて行われます。

巻頭

1 岡山大学における教育

2 岡山大学における学び

3 教養教育の学び

4 授業の履修手続き

5 受講上の注意

6 試験及び成績の評価

7 学びのサポート

8 教養教育科目授業時間表

巻末資料

3. 教養教育の学び

巻頭

1 岡山大学における教育

2 岡山大学における学び

3 教養教育の学び

4 授業の履修手続き

5 受講上の注意

6 試験及び成績の評価

7 学びのサポート

8 教養教育科目授業時間表

巻末資料

eラーニング	コンピューター等の機器を用いて、英語力の向上を図ります。英語のデジタルコンテンツを作成するクラスもあれば、e-learning 教材を使用するクラスもあります。基本的に授業は英語を用いて行われます。
--------	---

(6) **プレ上級英語・上級英語** ※ 同一科目の繰り返し履修可

プレ上級英語及び上級英語は、ステップアップを目指す学生のために、発展的な内容を教えることを目的としています。【See→37頁「プレ上級英語・上級英語リスト」】

プレ上級英語は、TOEICスコアが400点以上495点以下の場合に履修することができます。また、上級英語は「Advanced skills English」と「Content English」の2種類があり、「Advanced skills English」はTOEICスコアが500点以上、「Content English」はTOEICスコアが600点以上の場合に履修することができます。

ただし、海外からの留学生で、英語が堪能であると授業担当教員が認める場合は、その学生はTOEICスコアがなくても履修できます。(With the teacher's approval, international students can attend Advanced English classes without submitting a TOEIC score.)

また、上級英語の「検定対策クラス」は400点未満でも履修することができます。

(7) **英語特別演習**

英語特別演習の授業は、すべて英語で行われます。1と2があり、3、4年次に履修できます。

・英語特別演習1 ※同一科目の繰り返し履修可

日本社会の諸相、グローバル化、テクノロジー、ビジネス、環境問題など幅広いトピックを扱います。

・英語特別演習2 ※同一科目の繰り返し履修可

グループ討論、主要学術文献講読、リサーチ・ペーパー執筆、プレゼンテーション等を含みます。履修者は主専攻を基にリサーチ・トピックを選びます。

年次・期		総合英語の履修スケジュール (例)	
1年次	前期	総合英語1 スピーキング	総合英語2 リーディング
	後期	総合英語3 ライティング	総合英語4 リスニング
2年次	前期	総合英語5	総合英語5
	後期	総合英語5	総合英語5
○学部によっては、「総合英語1・2」を後期に、「総合英語3・4」を前期に履修します。			
○平成25・26年度入学者：「総合英語5」は選択必修科目で、その選択肢は、(プレゼンテーション) (リーディング) (ライティング) (リスニング) (自律学習) (eラーニング) の6種類ですが、指定したクラスを履修させる学部もあります。			
○平成27年度入学者：「総合英語5」は必修科目で、(プレゼンテーション) (リーディング) (ライティング) (リスニング) の4種類が開講されます。			
○文学部、教育学部、法学部における「総合英語5」の履修に関しては、各学部の指示に従ってください。			

【平成24年度以前入学者】

(1) **学部教員が担当する英語**

この授業は、所属する学部・学科対象の授業科目を履修してください。

1年次にこの授業が開講されていて、その単位を取得しなかった学生は、新カリキュラムの科目を履修してその単位を読み替えることになります。どの授業科目が自分の学部で読み替えと認める授業科目となるかを「教養教育科目時間割表」やシラバスで確認した上で履修してください。

3. 教養教育の学び

(2) 英語（ネイティブ）

ネイティブスピーカーが英語のみで行う授業です。1年次に開講され、TOEICスコアが350点以上または基礎英語を4単位修得した場合に履修することができます。

英語（ネイティブ）の単位を取得していない学生は、新カリキュラムにおける英語（ネイティブ）の読替科目「英語コミュニケーション1」を履修してください。

(3) 種別英語

英語教員が担当する授業で、特定の学科を除いて、2年次から開講されます。4種類の授業から各期に異なる1種類を選択して履修します。

授業科目名	授業概要
英語（オラコン）	英語のオーラルコミュニケーション（リスニング、スピーキング）能力を伸ばすことを目的とします。ディクテーション、コンプリヘンション、ディベート、ディスカッション等の幅広い内容です。教材としては、テレビ・ラジオのニュース、映画等も含まれます。
英語（作文・文法）	既習の文法事項を復習し、定着させつつ、英語による表現能力の向上をはかることを目的とします。論文、エッセイ、手紙、E-mail等の書き方から日常会話に近い口語的表現の指導までが含まれます。
英語（読解）	人文分野、社会分野及び自然分野の教材を用いて、英語を読む能力を磨くことを目的とします。教材としては、言語、歴史、異文化理解、社会科学、自然科学等に関するエッセイやインターネット上の情報、あるいは新聞、雑誌等の時事英語、科学技術英語や医療英語の教科書等も含まれます。
英語（検定）	実用英語検定、TOEIC、TOEFL等、外部検定試験に合わせた練習を行い、実用的な英語力の養成を目的とします。教材としては、これらの試験に対応した問題集等も含まれます。

(4) 基礎英語 ※ 同一名科目の繰り返し履修可

基礎英語は、TOEIC-IPスコアが350点に達しなかった学生のための授業です。「修了」の評語をもって単位を授与し、卒業要件単位としては算入されません。

(5) プレ上級英語・上級英語 ※ 同一名科目の繰り返し履修可

・平成24年度入学者

プレ上級英語及び上級英語は、ステップアップを目指す学生のために、発展的な内容を教えることを目的としています。

プレ上級英語は、TOEICスコアが400点以上495点以下の場合に履修することができます。また、上級英語は「Advanced skills English」と「Content English」の2種類があり、「Advanced skills English」はTOEICスコアが500点以上、「Content English」はTOEICスコアが600点以上の場合に履修することができます。

ただし、上級英語の「検定対策クラス」は400点未満でも履修することができます。

・平成20年度～平成23年度入学者

上級英語は、ステップアップを目指す学生のために、発展的な内容を教えることを目的としています。

TOEICスコアが435点以上の場合に、上級英語を履修することができます。

ただし、上級英語の「検定対策クラス」は435点未満でも履修することができます。

・平成19年度以前入学者

上級英語は、ステップアップを目指す学生のために、発展的な内容を教えることを目的としています。上級英語の履修要件はありません。

3. 教養教育の学び

(6) 英語特別演習

英語特別演習の授業は、すべて英語で行われます。1と2があり、3、4年次に履修できます。

- ・英語特別演習1 ※同一科目の繰り返し履修可
日本社会の諸相、グローバル化、テクノロジー、ビジネス、環境問題など幅広いトピックを扱います。
- ・英語特別演習2 ※同一科目の繰り返し履修可
グループ討論、主要学術文献講読、リサーチ・ペーパー執筆、プレゼンテーション等を含みます。履修者は主専攻を基にリサーチ・トピックを選びます。

「初修外国語」

初めて学ぶ外国語では、7つの言語が開講されています。ただし開講形態の違いから、以下のようにA群とB群の二つに分かれます。

A群	ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	初級で「文法と読本」または「総合」の形で週2回履修することが基本
B群	ロシア語、スペイン語、イタリア語	初学者対象の「ベーシック」は週1回のみ開講

外国語科目の各初修外国語は、教養教育DP要素のうち、初級およびベーシックについては「教養－幅広い分野への知的関心」、「行動力－言語力－言語を運用する力」、「行動力－言語力－言語を理解する力」、「行動力－国際感覚」、「自己実現力－自己実現力」と主に関連しています。また、中級およびステップアップについては「教養－幅広い分野への知的関心」、「行動力－言語力－言語を理解する力」、「行動力－言語力－言語を運用する力」、「自己実現力－自己実現力」と主に関連しています。

初修外国語（A群）

1) 初級

ア. 初めて履修する場合は、教養教育科目授業時間表の「履修対象の学部、学科等」欄およびシラバスの指示に基づいて、第1学期から第4学期まで同一クラス、つまり同一科目・担当教員の授業科目（第1学期＝初級Ⅰ-1、第2学期＝初級Ⅰ-2、第3学期＝初級Ⅱ-1、第4学期＝初級Ⅱ-2）を履修してください。

イ. 再履修（一度履修したが、単位修得できなかった）の場合には、翌年度の同一授業科目を履修して下さい。

ウ. 2つの授業タイプがありますので選んで履修してください。

- 1) 「文法」と「読本」をそれぞれ週1回行う授業
- 2) 週2回セットで集中的に学ぶ「総合」の授業（このタイプの授業は、週2回の授業をセットで履修することになり、どちらか片方だけの履修は認められません）

注意：対象学生が指定されている場合はその授業タイプしか履修できません。

2) 中級 ※ 同一科目の繰り返し履修可

1年次生でも、授業担当教員と相談の上、履修することができます。履修を希望する者は、最初の授業に出席して、担当教員から履修の許可を受けてください。

初修外国語（B群）

1) ベーシック

- ア. 開講曜日・時間帯は以下の通りです。
- ロシア語ベーシック1～4：金曜7限・8限
 - スペイン語ベーシック1～4：火曜7限・8限
 - イタリア語ベーシック1～4：金曜7限・8限

イ. 再履修（一度履修したが、単位修得できなかった）の場合には、翌年度の同一授業科目を履修して下さい。

巻頭
1 岡山大学における教育
2 岡山大学における学び
3 教養教育の学び
4 授業の履修手続き
5 受講上の注意
6 試験及び成績の評価
7 学びのサポート
8 教養教育科目授業時間表
巻末資料

3. 教養教育の学び

2) ステップアップ ※ 同一科目の繰り返し履修可

ア. 開講曜日・時間帯は以下の通りです。

ロシア語ステップアップ : 金曜 5 限・6 限

スペイン語ステップアップ : 火曜 5 限・6 限

イタリア語ステップアップ : 木曜 7 限・8 限

イ. 1 年次生でも、授業担当教員と相談の上、履修することができます。

履修を希望する者は、最初の授業に出席して、担当教員から履修の許可を受けてください。

「日本語（留学生用）」

この科目は、教養教育DP要素のうち、「行動力ー言語力ー言語を運用する力」、「行動力ー言語力ー言語を理解する力」、「自己実現力ー自己実現力」と主に関連しています。

履修について不明な点がある場合は、所属学部の教務学生担当窓口を確認してください。

外国人留学生を履修対象としていますので、日本人学生の履修はできません。

ALC NetAcademy2 (e-learning) の進め方 (学生用)

岡山大学では、CALL (コンピュータ支援言語学習) 教材の ALC NetAcademy2 を導入しています。本学の学部生・大学院生なら誰でも自宅や大学のパソコン (ウィンドウズ) から 24 時間いつでも自主的に学習できるようになっています。インターネットに接続されたパソコンがあれば、自宅から好きな時間に使用可能であり、ひとりひとりのペースや目的にあわせ段階的なステップアップを実現できるよう、教材が用意されています。



・スーパースタANDARDコース

英語のリスニング・リーディング力の強化を目的とした英語学習用教材の標準コースとなります。初級から中級まで、幅広いレベルに対応しており、TOEIC 試験対策にも最適です。TOEIC テスト (ミニ模試 10 セット) もラインナップされています。個人の学習進度に合わせた効果的な英語学習を実現しています。

・TOEIC(R)テスト演習 2000 コース

TOEIC の出題形式に合わせて 3 つのパターンで受験可能な教材です。時間内に解く練習や出題傾向などの解説もわかるやすくテスト運用能力を上げる教材です。所要時間は 200 問が 120 分、100 問が 60 分、50 問が 30 分です。解説が分かりやすく、学習結果で自分の弱点を分析することが可能です。

・医学英語<基礎>コース

医師と患者の診察会話などを体験しながら、出てくる語彙や表現を習得します。医療分野での英語力を要請するのにはもちろんのこと、自分の病状を説明するのにも役立ちますので、海外への留学や旅行の予定のある方は是非、事前に確認して下さい。

1. ALC NetAcademy2 を立ち上げる。[岡山大学ホームページ] → [在学生・保護者の方] → [各システムへの入り口] → [ALC NetAcademy2] (学習者編簡易マニュアル PDF へのリンクもあります) → ログイン画面<<https://odidp.cc.okayama-u.ac.jp/idp/Authn/UserPassword>>

*岡大 ID とパスワードを入力します。

Login をクリックします。学外からもログインできます。

スーパースタANDARDコース 学習方法

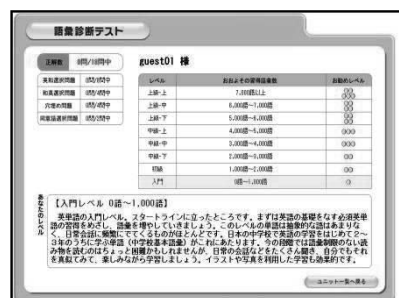
1, レベル診断テストを受けよう



スーパースタANDARDコースのサブコース一覧画面です。最初にレベル診断テストを受験します。レベル診断テストを選択して、[ユニット一覧へ] ボタンをクリックします。



レベル診断テストのユニット一覧画面です。受験する診断テストを選択して、[テストを開始する] ボタンをクリックします。レベル診断テストは何回も受験できます。



診断テスト受験後は、結果画面が表示されます。[ユニット一覧へ戻る] ボタンをクリックし、もう一方の診断テストも受験します。

2, リスニングの学習に入ろう!



Step 1: First Listening

音声に集中します。強く読まれる名詞や動詞に集中して聞いてみよう。

Step 2: Discovery 英語テキストや日本語テキストを表示して内容を理解します。

Step 3: Quiz Time Question 1 - Question 3 を解答します。

Step 4: Sound Training Speed Listening では、まず Normal Speed で聞いた後 Fast Speed や Faster Speed で何度か聞きます。再び Normal Speed で聞くと、ゆっくり聞こえるでしょう。キーボードで単語を入力し、ブランククイズに答えます。Shadowing では、聞こえてきた音声のまねをして声を出してみましょう。

Step 5: Review もう一度、本文の内容を確認し、未習得の単語を覚えます。

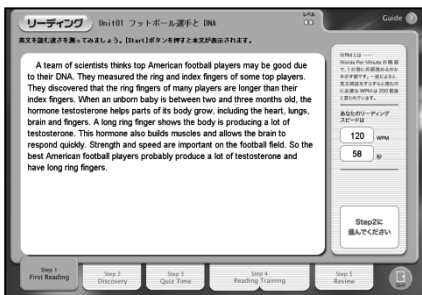
各ユニット学習後、アドバンスモードに進むと、ディクテーション練習ができます。

「終了」を押し、学習終了マークを付けてから、「はい」というボタンを押して終わります。

(注) インターネットエクスプローラ右上の [×] マークで終わると、学習履歴が消えてしまいます。右上の [×] マークは絶対に押さないようにしましょう。

e-learning の画面を終了するときは、最後に必ず ログアウト をクリックします。

3,リーディングの学習に入ろう！



「サブコース一覧へ」をクリックし、「サブコース名」から「リーディング」を選択します
 「あなたのお勧めレベル」が出ます。(例 ○○○ レベル3)
 お勧めレベルに合わせて学習を進めます。ユニットからレベルにあったユニットタイトルを選択します。学習を開始するをクリックします。

- Step 1: First Reading まず集中して読みます。
- Step 2: Discovery テキストを表示して内容を理解します
- Step 3: Quiz Time 解答し、結果を見ます
- Step 4: Reading Training Speed Reading では、チャンク読み・センテンス読み・キーワード読みを試してから、スピード再計測をしてみましょう。
 余力があれば、WPM（1分間に読める語数）を高く設定して挑戦してみよう。
 Structural Training では、英文の構造を身につけるトレーニングをしてみよう。
- Step 5: Review もう一度、本文の内容を確認し、未習得の単語を覚えます。

各ユニット学習後、アドバンスモードに進むと、ディクテーション練習ができます。
 「終了」を押し、学習終了マークを付けてから、「はい」というボタンを押して終わります。

4, TOEIC®テスト演習で実力ののびを実感しよう。



TOEIC®テスト演習に週1ユニットずつ挑戦しましょう。
 50問(約30分)のテストが10ユニットあります。
 TOEICのテスト形式に慣れるためにもこの演習コースを活用して下さい。
 解説以外にも傾向と対策も盛り込まれています。

TOEIC テスト演習 2000 コースの学習方法

1, TOEIC 模試で勉強しよう！

実際の TOEIC テストと同じ 200 問/120 分のフルスケール、1/2 スケール (100 問/60 分)、1/4 スケール(50 問/30 分)の 3 つの受験パターンから選択できます

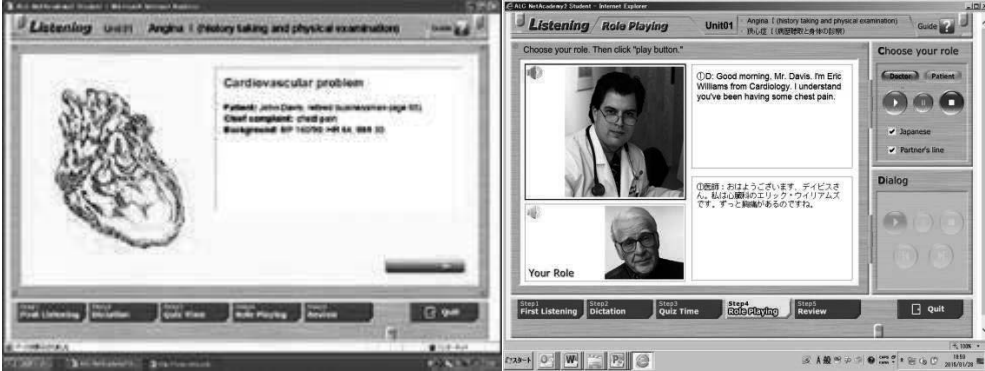


全問解説付きです。
 各 Part の求められるスキルや設問パターンの把握ができます。
 採点結果も瞬時に出ますの弱点把握に効果的です。

医学英語<基礎>コースの学習方法

1,リスニング力を強化しましょう！

代表的な症例をテーマに、医師と患者の会話が12ユニットあります。よく使われる表現を習得しながらリスニング力を養うことに重点を置いています。



Step1 First Listening

ユニット全体を聞きます。会話中に聞き取れない単語や表現があれば **Keyword** をクリックして意味を確認します。

Step2 Dictation

音声を聞いて、英文の空所に単語を入力します。

Step3 Quiz Time

3題の内容把握問題で、理解度をチェックします。

Step4 Role Playing

医師または患者のパートを選び、実際に声を出して演習します。

Step5 Review

ユニットの英文、日本語訳、注釈を表示して学習の総まとめをします。

2,リーディング力を強化しましょう！

医学関連のさまざまなトピックのリーディング素材が30ユニットあります。英語を文頭から理解する **Phrase Reading** 学習をはじめ、速く正確に読みこなす力を養うことに重点を置いています。



Step1 First Reading

Intro 画面でテーマを確認した後、ユニットの全体を自分のペースで読み、リーディングスピードを測ります。

Step2 Phrase Reading

フレーズ単位で英文を文頭から読み進めます。5つのリーディングタイプから自分に合った方法を選択できます。

Step3 Notes & Phrase

注釈機能を使って語彙や文法事項の確認をし、内容の理解を深めます。

Step4 Quiz Time

3題の内容把握問題で、理解度をチェックします。

Step5 Review

ユニットの英文、日本語訳、注釈を表示して学習の総まとめをします。

3,医療語彙を習得しよう!

使用頻度の高い医療語彙を 1000 語ピックアップ。全体を 8つのカテゴリーに分け、さらに 1 ユニット 15~20 語に分類。英語と日本語のマッチングや音声とのマッチング、さらにユニットで学習した語彙の理解度を確認するスペルアウト演習を通し、語彙力を確実に定着させます。



語彙力増強「道場」について(標準語彙水準 SVL)

1,語彙力 UP! (学習者画面上部のバーの「道場」をクリックで学習できます。)



出題範囲のレベル (レベル 1~12) は「標準語彙水準 SVL12000」(SVL=Standard Vocabulary List) を基準としています。長年にわたり学習教材・書籍を通じて英語学習者の皆さんをサポートしてきたアルクが、蓄積してきたさまざまな英文データと、多数の貴重な選考資料をもとに、日本人の英語学習者にとって有用であると思われる英語語彙 1 万 2000 語を選び出し、基礎から上級へと 12 のレベルに区分した段階別学習語彙リストです。

プレ上級英語・上級英語リスト（授業内容による分類）

- 注1. 「プレ上級英語」は授業内容により4つのカテゴリーに分類されます。
- 平成24年度入学者から、「検定対策」クラスを除き、「プレ上級英語」の履修要件がTOEICスコア400点以上495点以下となります。
 - 「上級英語」は授業内容により6つのカテゴリーに分類されます。
 - 平成24年度入学者から、「検定対策」クラスを除き、「上級英語」の履修要件が、TOEICスコア500点以上となります。
 - 「上級英語」は、スキル別の「Advanced English（アドバンスト イングリッシュ）」ではTOEICスコア500点以上、内容に焦点をあてる「Content English（コンテンツイングリッシュ）」では600点以上です。
- *カテゴリー(5)「検定対策」クラスは、すべての学年についてTOEICスコアによる履修要件は適用されません。
- カテゴリーごとに、各担当者の授業を掲載しています。
 - 副専攻英語コース対象上級英語は、授業科目名ごとにまとめて掲載しています。
 - 同一内容の授業をまとめて掲載しています。
 - 高い質と教育効果を確保するために人数制限をすることがあります。
 - 履修の際には、授業内容、教科書、授業のレベル等の詳細をシラバスで確認のうえ自分に合った授業を選択してください。

講義番号	学期・曜日・時限	授業内容
------	----------	------

プレ上級英語

(1) 「リーディング力養成」

913431	第1月・7	(副専攻英語コース対象) プレ上級：リーディングと討論
913439	第2月・7	This course will aid students in developing their reading skills. In class students will work to improve reading skills such as predicting language, coping with unknown words, and remember vocabulary. Students will apply these skills to increase their reading speed and comprehension by reading simplified books.
913433	第3月・7	
913441	第4月・7	

(2) 「リスニング力養成」

913432	第1木・7	(副専攻英語コース対象) プレ上級：リスニングとスピーキング
913440	第2木・7	Students will be taught strategies for listening to various types of English, including lectures, movies, and stories. They'll listen to English as spoken by natives of various countries. Students will discuss the content of the material and will analyze, paraphrase and write about what they hear.
913434	第3木・7	
913442	第4木・7	

(3) 「ライティング力養成」

913435	第1火・7	(副専攻英語コース対象) プレ上級：ライティングと討論
913443	第2火・7	In this class, students will develop their language skills by studying about specific writing methods that will enable them to write succinct reviews. Students will practice comprehending English by learning to write reviews about selected movies, music & books. Solo and group activities, which include particular focus on (Writing), will be included.
913437	第3火・7	
913444	第4火・7	(副専攻英語コース対象) プレ上級：ライティングと討論
		This course will allow students the chance to improve their overall script writing skills. Students will learn how to plan, outline, and write scripts for various purposes and themes.

(4) 「スピーキング力養成」

9 1 3 4 3 6	第1	金・7	(副専攻英語コース対象) プレ上級：スピーキングと討論 In this class, students will develop their language skills by studying about contemporary issues. Students will practice comprehending English by viewing TED-Ed videos for each lesson theme. They will then have opportunities to develop their critical thinking and communication skills by discussing their opinions &/or presenting their ideas. Individual and group projects, which include particular focus on (Speaking), will be included.
9 1 3 4 4 6	第2	金・7	
9 1 3 4 3 8	第3	金・7	
9 1 3 4 4 5	第4	金・7	

上級英語

(1) 「読解力養成」：文学作品・時事英語・映画・エッセイ・インターネット記事・演説・ビジネス英語等の Reading に重点を置く授業

9 1 3 5 1 8 9 1 3 6 1 2	第1 第2	火・7 火・7	(副専攻英語コース対象) アドバンスト イングリッシュ 「リーディングと討論」 This course will introduce reading and analyzing skills concerning movie characteristics. This course will include English discussions, reading about movies, watching movies in addition to writing about them. Small reports will be required along with a final report on a movie of your choice to compare and contrast.
9 1 3 5 4 1 9 1 3 6 3 4	第3 第4	火・7 火・7	(副専攻英語コース対象) コンテント イングリッシュ：「リーディングと討論」 In this course, students will have the opportunity to see how humor is used to comment on social issues in English-speaking countries, especially in the United States of America. We will do this by reading about current social issues and then watching English movie and TV clips which offers commentary on the respective social issue. Finally, students will be asked to write short reports or essays in order to express their own opinions in English. Class discussions will also be an important part of this class. This will be an integrated skills class in which students will have opportunities to improve their reading, writing, speaking, and listening in English. Although most Advanced English courses require only a TOEIC score of 500 or higher, a score of at least 600 is highly recommended for this course.
9 1 3 4 7 6	第1	木・7&8	(副専攻英語コース対象) アドバンスト イングリッシュ 「リーディングと討論」 Students will read and discuss interesting topics in English. They will choose the topics on the first day of class. Students will also choose articles and lead class discussions, especially in quarter 2.
9 1 3 5 0 3 9 1 3 5 9 7	第3 第4	木・7 木・7	(副専攻英語コース対象) アドバンスト イングリッシュ 「リーディングと討論」 In this course, students will improve their ability to understand and deeply discuss what they read in English. Students will choose English articles about current issues and act as discussion leaders with their classmates. Depending on the level of students in the course, the teacher may start with shorter, bilingual (Japanese and English) articles and build up to short newspaper or magazine articles.
9 1 3 5 2 8 9 1 3 6 2 2 9 1 3 5 4 7	第1 第2 第3	金・7 金・7 金・7	(副専攻英語コース対象) アドバンスト イングリッシュ 「リーディングと討論」

9 1 3 6 4 0	第4 金・7	This course will focus mainly on reading a range of news stories to practice and improve reading skills. In pairs and groups, you will also discuss these stories to help you deepen your understanding of the topics covered.
-------------	--------	--

(2) 「リスニング力養成」：CD・カセットテープ・ビデオ・DVD 教材等を利用する Listening に重点を置く授業

9 1 3 4 6 5 9 1 3 5 6 3 9 1 3 4 8 8 9 1 3 5 8 6	第1 月・7 第2 月・7 第3 月・7 第4 月・7	(副専攻英語コース対象) アドバンスト イングリッシュ：「リスニングとスピーキング」 In this course we will listen to current pop music. We will study the song's lyrics and structure, meaning and melody, influences and controversies. We will learn how to talk about pop music.
9 1 3 4 7 7 9 1 3 5 7 5 9 1 3 6 3 2	第1 木7 & 8 第2 火7 & 8 第4 火7 & 8	(副専攻英語コース対象) アドバンスト イングリッシュ：「リスニングとスピーキング」 In this e-learning course, students will practice listening to speech and talks on topics ranging from culture to science. Students will be introduced to a number of web sites especially designed for English learners wishing to improve their listening skills. They will carry out activities such as dictation, summarizing and answering questions. They will read transcriptions as they listen (combining the reading and listening skills). They will also participate in small group discussions. Student discussions will center on the materials they are using and their learning experiences.
9 1 3 5 0 4	第4 木・7 & 8	(副専攻英語コース対象) アドバンスト イングリッシュ：「リスニングとスピーキング」 In this class, students will have the opportunity to listen to popular songs in English. Students will be able to learn about the singers and have discussions about various topics related to the singer or the song. Although the class will focus on listening comprehension, we will also do short speaking, reading, and writing activities.
9 1 3 5 3 1 9 1 3 6 2 5	第1 金・7 第2 金・7	(副専攻英語コース対象) アドバンスト イングリッシュ：「リスニングとスピーキング」 In this course, students will listen to talks on topics ranging from global issues, current events, culture, lifestyle and science. Students will have the opportunity to discuss these issues. In addition to the main focus of listening comprehension, there will also be speaking, reading, and writing activities.
9 1 3 5 2 9 9 1 3 5 5 0	第1 金7 & 8 第3 金7 & 8	(副専攻英語コース対象) コンテント イングリッシュ：「リスニングとスピーキング」 This class is open to both Japanese and international students. Students will learn about global citizenship via the Model United Nations. Students will role play delegates from different UN member nations. They will research global issues and how they affect the people of their country and the world rest of the world. Delegates will then gather in a UN committee to discuss the issue and draft a resolution to solve the problems related to it.

(3) 「語彙・文法・作文力養成」：Writingに必要な語彙・文法・作文技術等の習得に重点を置く授業

913490 913588	第3月・7 第4月・7	(副専攻英語コース対象) アドバンスト イングリッシュ：「ライティングと討論」 Students will engage in two online projects which will involve lots of online communication. In addition to focusing on their English writing, students will also learn how to use various Google applications. The teacher will provide students with strategies to aid them in completing the various tasks.
913515 913609 913538 913631	第1火・7 第2火・7 第3火・7 第4火・7	(副専攻英語コース対象) アドバンスト イングリッシュ：「ライティングと討論」 In this class we will conduct small activities and social experiments. We will then discuss the activities and write up the results in short structured research reports.
913475 913573 913502 913596	第1木・7 第2木・7 第3木・7 第4木・7	(副専攻英語コース対象) アドバンスト イングリッシュ：「ライティングと討論」 Teacher will introduce strategies to help students write more fluently and accurately. These include ways to get ideas, planning, writing different drafts, and editing. The teacher will also provide appropriate correction of errors.
913530 913624 913549 913642	第1金・7 第1・金・7 第3金・7 第4金・7	(副専攻英語コース対象) アドバンスト イングリッシュ：「ライティングと討論」 Students will read, discuss, and write about interesting global, cultural, and contemporary issues in English. The aim of this course is to help you communicate your ideas more effectively in written English. Students will write reports and keep written journals that address the topics introduced in the course. In class students will prepare to write, write, and edit their work individually and in collaboration with peers and the teacher.

(4) 「発表技術・コミュニケーション力養成」：Presentation, Speaking等、コミュニケーションに必要な技術の習得に重点を置く授業

913466 913564 913489 913587	第1月・7 第2月・7 第3月・7 第4月・7	(副専攻英語コース対象) アドバンスト イングリッシュ：「スピーキングと討論」 In this class, students will develop their language skills by studying about contemporary issues. Students will practice comprehending English by viewing TED-Ed videos for each lesson theme. They will then have opportunities to develop their critical thinking and communication skills by discussing their opinions &/or presenting their ideas. Individual and group projects, which include particular focus on (Speaking), will be included.
913468 913567	第1月・7 第2月・7	(副専攻英語コース対象) コンテント イングリッシュ：「スピーキングと討論」 As this course is open to both Japanese and foreign exchange students, the main focus of this course will be exploring the differences (and similarities) between Japanese and foreign cultures. The content of study will be divided into two parts: (1) The teacher will introduce a variety of topics related to cultural differences through short lectures, PowerPoint presentations, and audio visual resources. Students will discuss these issues with their

		classmates and write their reactions. (2) Small groups will do independent research on a topic of their choosing and prepare a PowerPoint presentation and discussion for their classmates. When possible, groups will be comprised of students from different cultures.
9 1 3 4 9 2 9 1 3 5 9 0	第3 月・7 第4 月・7	(副専攻英語コース対象) コンテント イングリッシュ: 「スピーキングと討論」 This unique bilingual course will be team-taught by an American (Rucynski) and Japanese (Morioka) teacher. It is open to all students including foreign exchange students. It is a CLIL (Content and Language Integrated Learning) class. The primary focus is content, which is social issues, and conducted mainly in English, supplemented by Japanese language. Students will have many opportunities each week to deeply discuss topics of interest based on a wide range of current social issues both in English and Japanese. たとえば、日本では選挙権の年齢が18歳に引き下げられました(2016年の7月から施行)が、これは適切な年齢なのか、他の国と比較して考えてみましょう。また、これから日本は外国からの移民をどのように受け入れていけばいいのか、留学生とも話し合ってみましょう。The pace will be lively and active participation is expected. As there is a bilingual Japanese teacher in the classroom, she will be able to provide language support for both Japanese and international students
9 1 3 5 1 7 9 1 3 6 1 1	第1 火・7 第2 火・7	Students will analyze and discuss talks pulled from various sources including the internet. Students will be given homework assignments to analyze talks, arguments real-world problems, and to express their own principles. Discussions will follow. We'll look at argumentation and at polite disagreement. Students will also practice presentation skills and will analyze and work together on presentations and self-expression.
9 1 3 5 4 0 9 1 3 6 3 3	第3 火・7 第4 火・7	(副専攻英語コース対象) アドバンスト イングリッシュ: 「スピーキングと討論」 The theme of this class is Global Citizenship. Students will learn about the world and how to make a positive contribution. They will develop their English listening skills, by studying National Geographic videos and other authentic materials. Students will also engage in thematic projects and presentations
9 1 3 4 7 8 9 1 3 5 7 6 9 1 3 5 0 5 9 1 3 5 9 9	第1 木・7 第2 木・7 第3 木・7 第4 木・7	(副専攻英語コース対象) コンテント イングリッシュ: 「スピーキングと討論」 This course is uniquely designed for Japanese students to take class together with EPOK students. The language of communication is entirely English. This course is organized around socially oriented topics and issues to raise awareness of interactions in communicating with people from different cultures.
9 1 3 5 4 8 9 1 3 6 4 1	第3 金・7 第4 金・7	Students will analyze and discuss talks pulled from various sources including the internet. Students will be given homework assignments to analyze talks, arguments real-world problems, and to express their own principles. Discussions will follow. We'll look at argumentation and at polite disagreement. Students will also practice presentation skills and will analyze and work together on presentations and self-expression.

(5) 「検定対策」: TOEIC/ TOEFL/IELTS 試験対策等に重点を置く授業

9 1 3 4 6 3 9 1 3 4 7 3	第1 月・7 第3 月・7	This course is designed to provide TOEFL iBT Listening test preparation for students who are planning to study abroad. Class
----------------------------	------------------	--

913486 913500 913526 913545 913572 913595	第1月・7 第3木・7 第1金・7 第3金・7 第2木・7 第4木・7	sessions are based on the textbook and materials provided by the instructor, and combine both lecture and seminar style approaches. This course also provides instruction in test-taking strategies, such as note-taking and time management skills for the listening test.
913464 913487 913562 913585	第1月・7 第3月・7 第2月・7 第4月・7	TOEIC テストの問題を解きながら、英語力の向上を図ります。
913469 913471 913493 913494 913520 913521 913543 913544 913568 913569 913591 913592 913614 913615 913636 913637	第1月・7 第1月・7 第3月・7 第3月・7 第1火・7 第1火・7 第3火・7 第3火・7 第3火・7 第2月・7 第2月・7 第4月・7 第4月・7 第2火・7 第2火・7 第4火・7 第4火・7	This course will provide opportunities for learners to practice listening skills by doing tasks mainly based on different topics. Students will be introduced to a wide range of TOEIC TEST materials and learning strategies.
913470 913491 913607 913620 913629 913638	第1月・7 第3月・7 第2火・7 第2金・7 第4火・7 第4金・7	This course is designed to provide TOEFL iBT Speaking test preparation for students who are planning to study abroad. Class sessions are based on the textbook and materials provided by the instructor, and combine both lecture and seminar style approaches. This course also provides instruction in test-taking strategies, such as note-taking and time management skills for the speaking test.
913472 913495 913519 913532 913542 913551 913570 913593 913613 913626 913635 913644	第1月・7 第3月・7 第1火・7 第1金・7 第3火・7 第3金・7 第2月・7 第4月・7 第2火・7 第2金・7 第4火・7 第4金・7	Students will work on simulated test problems of a certificate examination, incorporating methods rooted in cognitive science and multi-competence. Multi-competence, meaning the command of more than one language, is applied in the class to facilitate interaction between English and Japanese. Students will also address cultural literacy underlying language. They are encouraged to attain English proficiency equivalent to or more than 500 points on the TOEIC test.
913474 913501 913561 913584	第1木・7 第3木・7 第2月・7 第4月・7	This course is designed to provide TOEFL iBT Writing test preparation for students who are planning to study abroad. Class sessions are based on the textbook and materials provided by the instructor, and combine both lecture and seminar style approaches. This course also provides instruction in test-taking strategies, such as note-taking and time management skills for the test.
913479 913506 913577 913600	第1木・7 第3木・7 第2木・7 第4木・7	TOEIC 試験のリーディング、リスニング問題を解くための英語力向上をはかります。各種のリスニング、文法、語法、読解問題を多くこなします。
913480	第1木・7	TOEIC に向けての基礎的演習
913481 913508 913579 913602	第1木・7 第3木・7 第2木・7 第4木・7	TOEIC のスコアアップに必要なストラテジーをまず学び、語彙の学習をした後、TOEIC 形式の問題を解いていく。短時間でリスニング問題における着目点、文法問題の解き方、リーディング問題の出題方法など各パートごとに必要なスキルについて解説を加える。

9 1 3 5 0 7	第3 木・7	TOEIC に向けて難度をあげた演習
9 1 3 5 1 3 9 1 3 5 3 6 9 1 3 5 6 6 9 1 3 5 7 1 9 1 3 5 8 9 9 1 3 5 9 4	第1 火・7 第3 火・7 第2 月・7 第2 木・7 第4 月・7 第4 木・7	This course is designed to provide TOEFL iBT Reading test preparation for students who are planning to study abroad. Class sessions are based on the textbook and materials provided by the instructor, and combine both lecture and seminar style approaches. This course also provides instruction in test-taking strategies, such as note-taking and time management skills for the reading test.
9 1 3 5 1 4 9 1 3 6 0 8 9 1 3 5 3 7 9 1 3 6 3 0	第1 火7 & 8 第2 火7 & 8 第3 火7 & 8 第4 火7 & 8	This course is designed to provide IELTS preparation for students. Class sessions are based on the textbook and materials provided by the instructor, and combine both lecture and seminar style approaches. This course also provides instruction in test-taking strategies, such as note-taking and time management skills.
9 1 3 5 3 3 9 1 3 5 5 2 9 1 3 5 7 8 9 1 3 6 0 1 9 1 3 6 2 7 9 1 3 6 4 5	第1 金・7 第3 金・7 第2 木・7 第4 木・7 第2 金・7 第4 金・7	TOEICに向けての演習

科目区分	科目名	単位	講義番号 期別・曜日・時限			英語コースの授業科目名	
教養教育科目	プレ上級英語	0.5	913436	第1	金・7	Speaking and discussion (スピーキングと討論)	
		0.5	913446	第2	金・7		
		0.5	913438	第3	金・7		
		0.5	913445	第4	金・7		
	上級英語	0.5	913466	第1	月・7		
		0.5	913564	第2	月・7		
		0.5	913489	第3	月・7		
		0.5	913587	第4	月・7		
		0.5	913468	第1	月・7		
		0.5	913567	第2	月・7		
		0.5	913492	第3	月・7		
		0.5	913590	第4	月・7		
		0.5	913517	第1	火・7		
		0.5	913611	第2	火・7		
		0.5	913540	第3	火・7		
		0.5	913633	第4	火・7		
		0.5	913478	第1	木・7		
		0.5	913576	第2	木・7		
		0.5	913505	第3	木・7		
		0.5	913599	第4	木・7		
	プレ上級英語	0.5	913432	第1	木・7		Listening with speaking (リスニングとスピーキング)
		0.5	913440	第2	木・7		
		0.5	913434	第3	木・7		
		0.5	913442	第4	木・7		
0.5		913465	第1	月・7			
0.5		913563	第2	月・7			
0.5		913488	第3	月・7			
0.5		913586	第4	月・7			
1		913477	第1	火・7&8			
1		913575	第2	火・7&8			
上級英語	1	913632	第4	火・7&8			
	1	913504	第4	木・7&8			
	0.5	913531	第1	金・7			
	0.5	913625	第2	金・7			
	1	913529	第1	金・7&8			
	1	913550	第3	金・7&8			
	プレ上級英語	0.5	913431	第1	月・7	Reading with discussion (リーディングと討論)	
		0.5	913439	第2	月・7		
		0.5	913433	第3	月・7		
		0.5	913441	第4	月・7		
0.5		913518	第1	火・7			
0.5		913612	第2	火・7			
0.5		913541	第3	火・7			
0.5		913634	第4	火・7			
上級英語	1	913476	第1	木・7&8			
	0.5	913503	第3	木・7			
	0.5	913597	第4	木・7			
	0.5	913528	第1	金・7			
	0.5	913622	第2	金・7			
	0.5	913547	第3	金・7			
	0.5	913640	第4	金・7			
	プレ上級英語	0.5	913435	第1	火・7		
		0.5	913443	第2	火・7		
		0.5	913437	第3	火・7		

	上級英語	0.5	913444	第4	火・7	Writing with discussion (ライティングと討論)
		0.5	913467	第1	月・7	
		0.5	913565	第2	月・7	
		0.5	913490	第3	月・7	
		0.5	913588	第4	月・7	
		0.5	913515	第1	火・7	
		0.5	913609	第2	火・7	
		0.5	913538	第3	火・7	
		0.5	913631	第4	火・7	
		0.5	913475	第1	木・7	
		0.5	913573	第2	木・7	
		0.5	913502	第3	木・7	
		0.5	913596	第4	木・7	
		0.5	913530	第1	金・7	
0.5	913624	第2	金・7			
専門基礎科目	英語特別演習1	1	913701	第1	金・7&8	SeminarA(セミナーA)
		1	913703	第2	金・7&8	
		1	913702	第3	月・7&8	SeminarB(セミナーB)
		1	913704	第4	月・7&8	
	英語特別演習2	1	913705	第1	月・7&8	Research projectA (リサーチ・プロジェクトA)
		1	913707	第2	月・7&8	
		1	913706	第3	木・7&8	Research projectB (リサーチ・プロジェクトB)
		1	913708	第4	木・7&8	

* 「プレ上級英語」「上級英語」(検定対策を除く)の履修要件は、平成24年度入学者から、「プレ上級英語」がTOEICスコア400点~495点、「上級英語」が500点以上となります。

* 「上級英語」の中には、TOEICスコアが600点以上でないと履修できないクラスがあります。

* 「プレ上級英語」も「上級英語」も人数制限をすることがあります。

* 「英語特別演習1・2」は3~4年次対象です。

* 副専攻英語コースの修了要件は、「スピーキングと討論」「リスニングとスピーキング」「リーディングと討論」「ライティングと討論」の4つの英語科目からそれぞれ2単位以上取得し合計10単位とすること、「セミナーA・B」「リサーチ・プロジェクトA・B」からそれぞれ4単位取得し合計8単位とすることです。また副専攻コースの修了単位として、「英語コミュニケーション1~6」の6単位が算入されます。(詳しくは、「副専攻コース履修案内」を参照して下さい。)

* 副専攻コースの修得単位の一部として、「プレ上級英語」は最大4単位まで算入できます。

* 講義番号が並列された2つのクラスは、原則として2学期連続して履修してください。詳しくはシラバスの「備考・履修上の注意」欄を参照してください。

4. 授業の履修手続き

大学の授業を受講するためには、「履修登録」の手続きを行う必要があります。「この授業科目をうけますよ。」という意思表示する手続きのことです。高校では決められた時間割どおりに学習しますが、大学では、皆さんの意思で、学習したい授業科目を選択できる「選択科目」があり、一定の範囲の自由度があります。もちろん、卒業や資格取得にはこの授業科目の単位が絶対必要という「必修科目」がありますから、注意が必要です。

また、履修に際しては、いろいろなルールがあります。以下の説明をよく読んで、皆さん自身の責任で履修の制度を確認し、学習目的に沿った授業科目を選択してください。履修制度の勘違いや、登録漏れなどによって、進級や卒業ができなかったり、卒業期が延びることもありますから気をつけてください。

履修登録は、第1・2学期及び夏季集中に開講される科目は4月に、第3・4学期及び冬季集中・春季集中に開講される科目は9月～10月に、学務システム（Web）から行います。

4-1 履修登録に必要なもの

- 岡大ID及びパスワード（入学時に大学から配布します。）
- 教養教育科目授業時間表
- 教養教育科目シラバス

4-2 教養教育科目 授業時間表の見方

時限	科目区分	授業科目	講義番号	担当教員	教室	履修対象の学部・学科等
						28年度入学者履修対象
1	知的理解（現代と社会）		914012	〇〇 〇〇	A34	自然系
	言語科目		914051	△△ △△	B31	文（1-90）
	汎用的技能と健康		914052	□□ □□	A32	全

3

4

1

2

1 学生番号

（ ）内の数字は、学生番号を省略して記載しています。

学生番号とは学生個人を表す番号で、学生証に8桁で表されています。出席カード、レポート、試験の答案など、重要な書類の提出の際に必要となりますので、学生証は常に携帯し、学生番号も間違いのないように記憶しておいてください。

学生番号の構成は次のとおりです。

【文学部人文学科1番の学生の場合】

学部コード 元号コード 入学年度 一連番号
 （2桁） （1桁） （2桁） （3桁）

0 1

4

2 8

0 0 1



4. 授業の履修手続き

【学部コード】

学 部	学部コード
文学部	01
教育学部	02
法学部	03
経済学部	04

学 部	学部コード
理学部	05
医学部	06
歯学部	07
薬学部	08

学 部 等	学部コード
工学部	09
環境理工学部	10
農学部	11
マッチングプログラム(MP)	12

2 履修対象の系

履修対象は、個別に指定されている場合を除き、以下のとおりグループ化して表示されます。

社会系：文学部，教育学部，法学部，経済学部

生命系：医学部，歯学部，薬学部，MP，グローバル人材育成特別コース（Gコース）
（MP及びGコースの学生は、履修対象をグループ化する際には、便宜上、生命系に含みます。）

自然系：理学部，工学部，環境理工学部，農学部

3 講義番号

6桁の数字が講義番号です。授業科目を履修登録する際に使用する番号になります。

4 教室

授業の開講されている教室は省略した名称で表示されます。事前に確認してから授業に行くようにしてください。【See→63☞授業時間表，150☞学内案内図・教室配置図参照】

4-3 履修登録のしかた

皆さんは、各自の履修計画に基づいて、履修しようとする授業科目を、皆さん自身が、岡山大学内に設置されたパソコンを利用して「履修登録」を行うことになります。履修登録のしかたについては、「学務システム利用の手引き」で確認してください。入力期間は、所属学部で異なりますので、注意してください。

履修登録手続きの流れは下図のとおりです。

・ 教養教育科目履修の手引き・授業時間表および学生便覧等履修関係書類を受け取る

・ 履修計画を立て、各学期に履修する授業科目を決める

・ コンピュータ端末による履修登録
・ 履修条件等のエラーがある場合は即時に修正すること

・ 翌日以降に、履修上限単位数を超えていないか、重複して科目を履修していないかをコンピュータ端末により確認
・ 上記については、登録の翌日にコンピュータ端末にエラーが表示されるため、登録の翌日以降に必ず確認すること

・ 登録翌日以降にエラー表示がなければ手続き終了

4. 授業の履修手続き

4-4 教養教育科目の抽選について

教養教育科目の「主題科目」、「個別科目」では、教育上の効果や円滑な授業運営を図るため、受講者数の上限を決めています。

また、授業内容によりもっとも少人数に制限されている授業科目もあります。

抽選登録期間終了後、上記科目の抽選を行います。

抽選結果の発表後、原則として当選者は科目の変更はできません。抽選に当選した科目を削除して追加募集されている科目を履修する場合は、新たに履修しようとする科目の担当教員の許可を受けてください。

もし抽選漏れした場合は、追加募集の科目について、所定の手続きにより、履修することができます。(所定の手続きについては、別途掲示を行います。)

「主題科目」、「個別科目」には抽選を行わない授業があります。【See→50頁「(3) 各科目の履修上のルール②「主題科目」、「個別科目」】

また、教養教育科目に関するQ&Aも参考にしてください。【See→179頁「よくある質問(Q&A)」】

平成28年度 第1・2学期及び夏季集中 抽選日程予定表 (新入生は、第1学期に開講される科目の抽選はありません。)



新入生(第1学期分を除く): ~4/4(月)

在学生: 2/22(月)・23(火)~3/20(日)

第1学期分(在学生のみ)
3/24(木)
第2学期・夏季集中分
4/10(日)

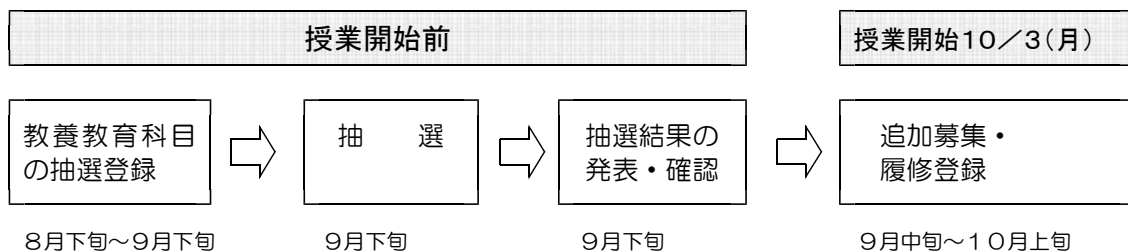
4/11(月)~4月中旬
(日程は所属学部掲示板上で確認すること)

注) 教養教育科目の抽選登録

1) 新入生の場合は、「教養教育科目抽選カード」を提出してください。

2) 在学生の場合はWeb(学外からも可)により登録してください。

平成28年度 第3・4学期及び冬季集中・春季集中 抽選日程予定表



8月下旬~9月下旬

9月下旬

9月下旬

9月中旬~10月上旬

(日程は所属学部掲示板上で確認すること)

注) 教養教育科目の抽選登録

1) 在学生全員、Web(学外からも可)により登録してください。

詳細な日程については、掲示でお知らせします。

4. 授業の履修手続き

4-5 履修登録のルール

(1) 教養教育科目授業時間表

「教養教育科目授業時間表」は、教養教育で開講される全ての科目を示した表です。教養教育では、さまざまな科目が開講されています。各科目によって履修対象や授業形態が異なりますので、授業時間表及びシラバスをよく見て履修登録を行ってください。

(2) 全学部共通の注意事項

教養教育科目全体の履修のルールや注意事項について確認しましょう。

① 履修登録・成績評価

授業科目はすべて学期単位で開講され、成績も学期ごとに評価されます。履修登録は第1・2学期及び夏季集中に開講される科目は4月に、第3・4学期及び冬季集中・春季集中に開講される科目は、9月～10月にWEBにより登録します。登録期間等の詳細は掲示にてお知らせします。

なお、履修登録が確定された後に履修登録科目を削除することはできませんが、夏季集中に開講される科目についてのみ、履修登録確定後に履修取消の手続きができます。取消期間は以下のとおりですので、履修登録を取り消す場合には各学部の教務担当窓口にて手続きを行ってください。履修取消した科目の評語は「W」となりGPの対象外となります。

【See→14頁「成績の評価」】

夏季集中講義の履修取消期間：7月25日（月）から授業開始の前々日まで

② 履修対象年次(学部ガイダンス科目は除く)

1) 月曜日及び木曜日に開講する科目

- ・原則として1年生及び3年生以上を履修対象とします。2年生は抽選対象科目の抽選登録はできません。
- ・2年生が履修を希望する場合は以下のとおりとします。

抽選対象科目	追加募集がある科目について、授業担当教員の許可があれば履修を認めます。
抽選を行わない科目	授業担当教員の許可があれば履修を認めます。

- ・その他指定がある科目は、その指示に従ってください。

2) 火曜日及び金曜日に開講する科目

- ・原則として2年生及び3年生以上を履修対象とします。1年生は抽選対象科目の抽選登録はできません。
- ・1年生が履修を希望する場合は以下のとおりとします。

抽選対象科目	追加募集がある科目について、授業担当教員の許可があれば履修を認めます。
抽選を行わない科目	授業担当教員の許可があれば履修を認めます。

- ・その他指定がある科目は、その指示に従ってください。

3) その他(集中講義等)

- ・特に指定された場合を除き、履修対象年次は限定しない。

③ 履修対象の学部・学科等

履修に際しては、授業時間表の「履修対象の学部、学科等」欄の指定およびシラバスの指示に従ってください。「履修対象学部、学科等」以外の学生は履修できないので注意が必要です。

④ 重複履修の禁止

- (1) 既に修得した授業科目を再度履修登録してはいけません。ただし、一部の授業科目では重複履修が認められています。
- (2) 同じ授業科目名の授業は、担当教員や授業内容が異なっても、重複履修することは

4. 授業の履修手続き

できません。

(3) 同一授業時間に開講される複数の授業科目を重複して登録することはできません。

(4) 上記 (1), (2)にかかわらず, するスポーツ演習, みるスポーツ演習, 支えるスポーツ演習, は同一名の授業科目でも重複履修が可能です。また, 言語科目の中にも重複履修できるものがあります。【See→140頁「開講授業科目一覧」】

⑤ 外国人留学生の言語科目

外国人留学生は, 言語科目の履修にあたって, 母国語を履修することはできません。

⑥ 夜間主コース授業の受講の禁止

昼間の学生は, 夜間主コースの授業を履修することはできません。

(3) 各科目の履修上のルール

① ガイダンス科目

各学部あるいは学科・課程ごとに当該学部所属学生を対象として開講されます。シラバス及び掲示等の指示に従って履修してください。【See→140頁「開講授業科目一覧」】

② 主題科目, 個別科目

主題科目及び個別科目は, 教育上の効果や円滑な授業運営を図るため, 履修人数の調整をするための抽選を行います。

抽選は, 第1・2学期及び夏季集中に開講される科目は前年度の2月～3月に, 第3・4学期及び冬季集中・春季集中に開講される科目は, 8月～9月にWEBにより登録します。抽選を行うグループごとに希望順位を付し, Webにより抽選登録を行ってください。

< 次の科目は抽選を行いません。シラバスをよく読んで手続きを行ってください。 >

ア) すべて英語で行われる科目 (130頁)

この講義は全て英語で行われるので, 英語力について受講要件があります。基本的に「TOEFL iBT57点以上 (TOEFL PBT 490点, TOEFL CBT 163点以上に相当), または TOEIC560点以上, あるいはそれに相当する英語力」としています。

イ) 「他学部が開講する専門教育科目で教養教育科目となるもの」

各学部が開講する専門教育科目のうち, 「学部開講専門教育科目一覧」(専門基礎科目・専門科目)に記載する科目を, 開講学部・学科以外の学生が履修し, 単位を修得した場合は, 専門教育科目として履修する場合を除き, 教養教育科目として履修し, 単位を修得することができます。

シラバスを熟読の上, 受講に際しては, 授業担当教員に, 他学部学生である旨, 申し出てください。【See→132頁】

③ 外国語科目

【平成25年度以降入学者】

●全学統一TOEIC-IPについて

全学統一TOEIC-IPは, 入学時(4月), 1年次後半(12月)および2年次後半(12月)に実施します。必ず3回の全学統一TOEIC-IPを受験してください。特に12月実施の全学統一TOEIC-IPは, 1年次は後半履修の「総合英語1～4」, 2年次は後半履修の「総合英語5」の単位認定要件となっていますので, 注意して下さい。

「総合英語1」「総合英語2」「総合英語3」「総合英語4」

1年次に開講される必修科目の授業です。入学時の全学統一TOEIC-IPの結果により, クラス分けを行います。指定されたクラスを変更することはできません。

単位未修得となった場合は, 次学期以降に, 事前に担当教員の許可を得て再履修してください。担当教員の許可がない場合は, 履修できません。なお, TOEICスコアによってクラス

4. 授業の履修手続き

分けをしていますので、再履修の場合は、担当教員への申し出前に、一般教育棟A棟2階学務企画課教育支援グループでクラスレベルの確認をしてください。

※カレッジTOEIC等でスコアが上がった場合は、それに基づいてクラス分けを行います。

「総合英語5」

2年次に開講される授業です。医学部医学科と歯学部では1年次後半より、その他の学部では2年次より履修します。

全学統一TOEIC-IPの結果により、クラス分けを行います。指定されたクラスを変更することはできません。

単位未修得となった場合は、次学期以降に、事前に担当教員の許可を得て再履修してください。担当教員の許可がない場合は、履修できません。なお、TOEICスコアによってクラス分けをしていますので、再履修の場合は、担当教員への申し出前に、一般教育棟A棟2階学務企画課教育支援グループでクラスレベルの確認をしてください。

※カレッジTOEIC等でスコアが上がった場合は、それに基づいてクラス分けを行います。

「プレ上級英語」・「上級英語」

履修を希望する学生は、必ず最初の授業に出席し、担当教員にTOEICスコアシートを提示した上で、履修の許可を得てください。ただし、検定対策用のクラスの受講者はスコアシート提示の必要はありません。

【平成24年度以前入学者】

「学部教員が担当する英語」

「教養教育科目授業時間表」の「履修対象の学部・学科等」欄およびシラバスの指示に基づき、所属する学部学科対象の授業を履修してください。前年度以前に単位未修得となった科目を再履修する場合も、同様です。

「英語(ネイティブ)」

ア) 平成24年度以前入学者で、英語(ネイティブ)の単位を取得していない学生は、TOEICスコアが本学の求める基準(350点)に達しなかった場合は、英語(ネイティブ)(必修科目)を履修することができません。各自でTOEICテストを受験し、350点以上獲得するか、あるいは基礎英語を履修して4単位修得することが必要です。

イ) 英語(ネイティブ)を新たに履修する場合、および前年度に単位未修得となり再履修する場合は、授業時間表及びシラバスの指示に基づき、希望する担当教員の履修許可を得て履修してください。

なお、TOEICスコアによってクラス分けをしていますので、新たに履修する場合は、履修を希望する学期開始前(2月末、8月末)までにスコアシートを一般教育棟A棟2階学務企画課教育支援グループへ提出してください。

再履修の場合は、担当教員への申し出前に、一般教育棟A棟2階学務企画課教育支援グループでクラスレベルを確認してください。

「種別英語」

ア) 薬学部学生は1科目(2単位)、薬学部以外の学生は2科目(4単位)まで履修することができます。

イ) 期別ごとに、学部・学科等が指定した科目の中から1科目(2単位)を履修してください。期別ごとに履修できるのは1科目のみです。

ウ) 前年度に単位未修得となった場合の再履修は、授業時間表及びシラバスの指示に基づき、希望する担当教員の履修許可を得て履修してください。なお、TOEICスコアによってクラス分けをしていますので、再履修の場合は、担当教員への申し出前に、一般教育棟A棟2階学務企画課教育支援グループでクラスレベルを確認してください。

4. 授業の履修手続き

「基礎英語」

履修を希望する学生は、必ず最初の授業に出席し、担当教員に履修の許可を得てください。

「プレ上級英語」・「上級英語」

履修を希望する学生は、必ず最初の授業に出席し、担当教員にTOEICスコアシートを提示した上で、履修の許可を得てください。ただし、検定対策用のクラスの受講者および平成19年度以前入学者はスコアシート提示の必要はありません。

(4) 他学部が開講する専門教育科目の履修について

各学部が開講する専門基礎科目のうち、「学部開講専門教育科目一覧表」(専門基礎科目・専門科目)に記載する授業科目は、全ての学部の学生を履修対象として開講しています。

この専門教育科目を開講学部以外の学生が履修し単位を修得した場合は、当該一覧表に記載のとおり教養教育科目の授業科目として取り扱われます。履修に当たっては、次の各事項に留意してください。

- (1) 開講学部、学期、曜日・時限および教養教育科目への対応についてよく確認の上、間違いのないようにしてください。(特に専門科目は、専門科目として履修する講義番号と教養教育科目として履修する講義番号が異なりますので、注意してください。)
- (2) 授業計画等を確認する場合は、各学部シラバスを参照してください。
- (3) 他学部学生は、履修に際して授業担当教員に、他学部履修者である旨、申し出てください。

5. 受講上の注意

授業を受ける際に知っておかなければならないことを説明します。知らないばかりに授業を受けられなかったり、必要な連絡ができなかったり、学生生活上に必要な支援が得られなかったり、さまざまな不都合が生じることになります。受講上の基本的な注意については、特に確認しておきましょう。

5-1 教室

教養教育科目の授業は、主に一般教育棟を使用して開講されますが、学部や情報統括センターの教室を使用する場合がありますので注意してください。

詳しくは、63頁「教養教育科目授業時間表」及び150頁「学内案内図・教室配置図」を参照してください。

5-2 授業に関する連絡

教養教育科目に関するいろいろな連絡は、次の方法で行われます。定期的に、必ず確認してください。

(1) 教養教育掲示板

教養教育関係の「休講」・「補講」・「お知らせ」等の情報を掲示します。一般教育棟A棟1階掲示板を定期的に確認してください。

(2) 岡山大学ホームページ・学務システム (Web)

教養教育掲示板を補完する意味で、岡山大学ホームページと学務システム (Web) に情報を掲載します。学務システムは携帯電話にも対応しています。

■URL <http://www.okayama-u.ac.jp/>

岡山大学公式ホームページの「在学生・保護者の方」のページにアクセスすると、学務システムへのリンクが表示されます。

■学務システム携帯電話URL

https://kymm.adm.okayama-u.ac.jp/kyomu/jsp/mobile/lg01/lg01_main.jsp

QRコード



5-3 教室変更

授業開始後は、受講者数の増減に伴い、教室を変更することがあります。教室変更については、一般教育棟A棟1階掲示板を必ず確認してください。

5. 受講上の注意

5-4 休講・補講

授業担当教員が、出張または病気等の理由で、担当する授業を休講する場合及びそれに伴う補講を行う場合は、一般教育棟A棟1階掲示板で通知しますので、毎日掲示を見るようにしてください。

5-5 公欠・準公欠・その他の欠席

(1) 公欠

以下の場合は、**公欠**として認められます。手続きは、**所属学部の教務学生担当窓口**で行ってください。

- ① 気象警報・交通機関の運休による欠席
- ② 親族が死亡したことによる欠席
- ③ 感染症に罹患したことによる欠席

【See→180頁「学生の通学が困難となる事由が発生した場合における授業等の取扱いについて」】

(2) 準公欠

以下の場合は、**準公欠**として認められます。手続きは、**所属学部の教務学生担当窓口**で行ってください。

- ① 裁判員制度に基づき裁判所へ出頭する場合、その他証人、参考人等として裁判所その他官公署へ出頭することによる欠席
- ② 骨髄移植のために骨髄液等の提供を行う場合等の欠席
- ③ 災害ボランティア活動に伴う欠席
(対象となる災害は公示しますので、掲示又はホームページにより確認してください。)

【See→180頁「学生の通学が困難となる事由が発生した場合における授業等の取扱いについて」】

(3) その他の欠席

公欠や準公欠とならない事由（主に、55ページの表に掲げるもの）により授業を欠席をする場合は、授業の欠席を届け出る際に、182ページに掲載している様式を使用することができます。（ただし、所属学部・研究科等により授業欠席の取扱い等が別途に定められている場合は、それに従ってください。）

この欠席届を提出する場合は、記入した後、必要に応じて関連書類を添付の上、**授業担当教員あてに直接提出してください。**

この欠席届の提出にかかわらず、成績評価に当たっての配慮を行うかどうかについては、各授業担当教員の判断に委ねられています。**この欠席届の提出により、授業担当教員による成績評価における配慮を確約するものではありません。**

なお、**定期試験を欠席する場合は、この欠席届を使用せず、57ページの「6-4 受験延期願（追試験）」に従って、手続きを行ってください。**

5. 受講上の注意

【欠席届を使用することができる主な授業欠席の事由】

本学の教育施設以外で実施する授業等	教育実習等	教育職員免許状又は保育士資格の取得のために必要な実習をいう。
	介護等の体験	教育職員免許状（小学校及び中学校免許）の取得のために必要な体験をいう。
	インターンシップ実習	本学の開講する授業で、単位認定を行う就業体験をいう。
	学外研修等	学部・研究科等において実施する学外研修及び学外施設見学等をいう。
集中講義	授業実施期間中における集中講義をいう。	
病気又はけが	学生の通学が困難となる事由が発生した場合における授業等の取扱いについて（平成21年9月16日学長裁定）第4に規定する、学生が感染症に罹患した場合等の取扱いによらない病気又はけがをいう。	
課外活動	岡山大学公認サークルの活動に伴う大会等への出場をいう。	
就職活動	授業実施期間中における就職活動をいう。	

【See →182頁「欠席届」様式】

【See →57頁「6-4 受験延期願（追試験）」】

5-6 レポートの提出

(1) レポートの作成

「授業科目名、担当教員名、学部、学科、学生番号、氏名」をレポートの表紙にわかりやすく記入してください。レポートが複数枚になる場合は、ホッチキスで止めて提出してください。

レポート・論文の中で他人の意見を引用する場合は、引用がわかる表示が必要です。

(2) レポートの提出期限、提出場所

- ① 提出方法については、担当教員からの指示に従ってください。
- ② 指示された提出時間・期限を過ぎた場合、受理できませんので注意してください。
- ③ 提出場所が「一般教育棟」と指示された場合は、一般教育棟A棟2階学務部前の廊下にある「レポートボックス」に提出してください。設置時間は、平日8:30～17:00です。

レポート表紙

／
授業科目名
授業担当教員名
テーマ
学部・学科
学生番号
氏名



6. 試験及び成績の評価

6-1 学期末試験・受験資格

試験日程の詳細は、各学期末までに一般教育棟A棟1階掲示板に掲示します。

試験は原則として、各学期末に行われ、授業時間数の3分の2以上出席していなければ、受験資格を失います。ただし、病気その他やむを得ない理由による長期欠席者及び休学者については、当該授業への出席時間数が2分の1以上の場合に限り、審議の上受験を認めることがあります。

6-2 受験心得

受験にあたっては、次の各事項に留意してください。

- ① 受験する学生は特別の指示がない限り、試験開始時刻の5分前までに所定の教室に入室を完了すること。
- ② 監督者が指定した座席において受験すること。
- ③ 受験中は必ず学生証を机の上に置くこと。
ただし、学生証を紛失又は忘れた場合は、監督者に申し出て、その指示に従うこと。
- ④ 受験中、机の上に置くことができるのは、学生証、筆記用具及びその他特に許可されたものに限る。それ以外の携行品はカバン等に入れて、座席の下に置くこと。また、机の棚板（物入れ）には何も置かないこと。
- ⑤ 携帯電話や音の出る機器は、必ず電源を切っておくこと。
- ⑥ 解答用紙には、所属学部名、入学年、番号及び氏名等の必要事項を必ず万年筆又はボールペンで記入すること。
- ⑦ 試験開始後20分を経過するまでは退室できない。
- ⑧ 試験開始後20分を経過した場合は入室できない。
- ⑨ 答案用紙は、特に指定がない場合、教卓上に提出するか、又は監督者に直接手渡すこと。自己の机の上に置いて退出すると当該授業科目の単位は認定しない。
- ⑩ 受験にあたっては、厳正な態度で臨み、誤解を招くような態度や不正行為は厳に慎むこと。
なお、監督者の指示に従わない者、及び不正行為があると認められた者に対しては、学則第58条（大学院学則第49条）により厳重な懲戒処分を行う。
懲戒処分の対象となる行為は次のとおりである。ここで、試験時間中とは、解答の開始から答案の提出までをいう。
 - 1) 代理（替玉）受験をしたり、させたりすること
 - 2) 試験時間中に、使用が許可されていないノート及び参考書等並びに電子機器類その他不正行為の手段となり得る物品を参照すること又は使用すること
 - 3) 試験時間中に、言語、動作又は電子機器類等により他人に教示すること又は教示を受けて解答に利用すること
 - 4) 答案を交換すること
 - 5) 試験時間中に、他の学生の答案をのぞき見すること
 - 6) 試験時間中に、使用が許可されたノート及び参考書等並びに電子機器類を貸借すること
 - 7) 所持品、電子機器類、身体、机又は壁等にかき込みをして試験に臨むこと
 - 8) 不正行為を幫助すること
 - 9) 試験時間中に、不正行為の手段となり得る物品を机の棚板（物入れ）に置いておくこと
 - 10) 不正行為を行おうとすること又は監督者の注意若しくは指示に従わないこと
 - 11) その他、試験の公正な実施を妨げる行為をすること

また、不正行為を行った場合は、当該行為が行われた時点において既に単位が認定されている授業科目を除いて、当該学期に履修している全ての授業科目（通年で開講する授業科目を含む。）の単位は認定されないだけでなく、学則第58条により厳重な懲戒処分を受けます。

6-3 不正行為

不正行為が判明した場合は、当該行為が行われた時点において既に単位が認定されている授業科目を除いて、当該学生が当該学期に履修登録している全ての授業科目（通年で開講する授業科目を含む。）の単位は認定されないだけでなく、学則第58条により厳重な懲戒処分を受けます。

6. 試験及び成績の評価

6-4 受験延期願（追試験）

病気その他やむを得ない事故等により定期試験の受験延期を希望する場合は、「受験延期願」（所定様式）に、次の書類等を添付して、一般教育棟A棟2階学務企画課教育支援グループへ提出しなければなりません。

- ① 病気の場合は、医師の診断書
- ② その他の場合は、その事故等を証明する証明書

上記願出者で、受験延期を認められた者は、追試験の受験資格を得ることができます。ただし、追試験の実施の有無は、授業担当教員の判断によります。

追試験は当初の試験日から2か月以内（第4学期末試験の場合はその学年末（3月31日）まで）に受験しなければなりません。

6. 試験及び成績の評価

6-5 成績の通知

学生の皆さんは、学務システム（Web）により、成績を確認することができます。
成績の公開日程は、学期末に掲示及びGmailでお知らせします。
学外のパソコンからも期間限定でアクセス可能です。
※学外の場合、アドレスが異なるので注意してください。

【注意】 成績を確認するために成績証明書を発行しないでください。
成績証明書は単位を確認するためのものではありません！

確認方法

※個人情報ですので他人に情報が漏れないよう取扱には十分注意してください。

学内のパソコン

岡山大学トップページより、
→ 「在学生・保護者の方」
→ 【学務システム】



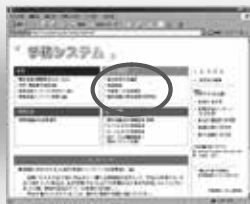
学外のパソコン

Gmail でお知らせするアドレス(URL)にアクセスしてください

※直接入力しなければアクセスできません。
このアドレスは皆さんの個人情報を守るために岡大HPとはリンクしていません。
同じ理由から、このアドレスのSNS等での拡散も禁止します。
※学外パソコン用のアドレスは毎期変更するので、注意してください。

□学内

この画面が表示されます。



□学外

この画面が表示されます。



単位修得状況確認をクリックします。 ※利用可能時間は8:30~24:00です。

岡大 ID・パスワードを入力したあと、ログインすると、単位修得状況確認表が表示されます。

※確認後は、「終了」をクリックしてログオフしてください。

※岡大 ID のパスワードをきちんと確認しておきましょう。



また本学では、保護者の方との連携により、学生へのより適切な修学指導を行うことを目的として、皆さんの成績（通算の単位修得状況）を保護者の方へ通知しています。

6. 試験及び成績の評価

6-6 成績評価に関する質問・疑問の受付について

教養教育科目の成績評価に関する質問や疑問がある場合には、以下のように取り扱います。

- 1) 教養教育科目に関して、成績開示後、開示された成績に質問・疑問等がある場合は、当該授業担当教員に質問等を行うことができます。
- 2) 教員は学生からの成績評価に関する質問・疑問等を受け付け、真摯に対応します。
- 3) 教員からの回答に納得できない場合は、「岡山大学教養教育科目における成績評価異議申立に関する要項」に基づき、異議を申し立てることができますので、一般教育棟A棟2階学務企画課教育支援グループにその旨を申し出てください。
- 4) 上記に関わらず、成績評価に関する質問・疑問等がある場合には、一般教育棟A棟2階学務企画課教育支援グループにその旨を申し出てください。

7. 学びのサポート

7-1 教科書の購入方法

教養教育科目の各授業科目ごとのテキスト、教材、参考書および販売店等については、シラバスに記載してありますが、この他、各期の始めに教科書の販売店等の一覧表を一般教育棟B棟1階階段下掲示板に掲示しますので、確認の上各取扱店にて購入してください。

7-2 教科書の活用方法

大学における教科書の利用は、単に授業時間内に利用されるものではありません。1つの授業で伝えるべき内容は大変たくさんあり、限られた授業時間内に伝えることのできる範囲は、氷山の一角にすぎません。

授業では理解できないことや、疑問点を解消するために予習することが、授業を受講するのと同様に大切なことです。自習用のテキストとしても大いに活用してください。

7-3 大学内で自主的に学習したいとき

(1) 図書館を利用する

図書の貸出、閲覧をはじめ、図書館は皆さんが欲しいと思う情報を収集できる場です。



中央図書館▶

開館日・時間など図書館の詳細については、ホームページで確認してください。

- 中央図書館（津島キャンパス） <http://www.lib.okayama-u.ac.jp/>
- 鹿田分館（鹿田キャンパス） <http://www.lib.okayama-u.ac.jp/shikata/>
- 資源植物科学研究所分館（倉敷地区） <http://www.rib.okayama-u.ac.jp/library/index-j.htm>

(2) WAKU²スクエア1・2・3・4, パソコン室を利用する

WAKU² スクエア1 一般教育棟A棟1F▼



利用時間 8:00~20:00

パソコン室 一般教育棟A棟2F▼



利用時間 8:30~20:00

WAKU² スクエア2の利用時間 8:00~21:00 大学会館1F
WAKU² スクエア3の利用時間 8:00~20:00 一般教育棟D棟1F
WAKU² スクエア4の利用時間 8:00~20:00 一般教育棟D棟2F

7. 学びのサポート

7-4 授業が分からない、授業について質問があるとき

(1) オフィス・アワーを活用する

オフィス・アワーとは、授業科目に関する学生の質問・相談等に応じるための時間として、教員が研究室に在室している時間帯のことです。授業担当教員のオフィス・アワーはシラバスで確認することができます。

7-5 外国語をもっと学習したいとき

授業以外で、外国語の学習を自主的に行いたい方のために、津島キャンパスには次のような施設が用意されています。

(1) イングリッシュ・カフェ 一般教育棟A棟別館 1階 L-café 内 月～金曜日 10時00分～19時00分

イングリッシュ・カフェでは、以下の活動を通じ、学生たちが英語に触れたり興味を深めたりする機会を提供しています。

- 1) 留学生と、会話やゲームを楽しむフリータイム
- 2) 留学生たちと一緒に楽しめる自由参加型のイベント（フェイスブック、ウェブページ、カフェ内にて順次お知らせ）
- 3) 英会話を気軽に練習するためのレッスン
- 4) TOEFLやTOEIC, IELTS などの英語試験対策勉強会
- 5) 英語練習問題集、試験対策本、英字新聞、原書、英字雑誌、DVD、BS二ヶ国語放送（CNN、BS放送等）
- 6) 留学相談

留学経験のある先輩学生や日本語の話せる留学生がお待ちしております。英語が苦手という方も一度、訪問してください。身近でできる異文化体験を一緒に始めましょう。



(2) 初修外国語「カフェ」

初修外国語でも、ネイティブ留学生との語らいの場、検定試験対策などの質問コーナーのための「カフェ」を開設しています。開設時間と場所は以下のとおりです。いつでも気軽に参加してください。

ドイツ語カフェ（シュタムティッシュ）

日時：毎週木曜日、16時15分～19時15分

場所：一般教育棟C棟4階 教員ラウンジ

7. 学びのサポート

フランス語カフェ（カフェ・フランセ）

日時：毎週木曜日，16時30分～18時30分

場所：一般教育棟A棟別館1階 L-café 内

その他，ブログやフェイスブックでも情報発信をしています。

<https://www.facebook.com/OkayamaUniversiteCafeFrancais/>

http://1-cafe.ccsv.okayama-u.ac.jp/wp_f/

中国語カフェ（中文茶房）

日時：毎週火曜日16時20分～19時

場所：一般教育棟A棟別館 1階 L-café 内

韓国語カフェ（イヤギ）

日時：毎週月曜日，16時30分～18時頃

場所：一般教育棟C棟4階 教員ラウンジ

(3) にほんごカフェ「Sakura」

岡山大学には40近い国から500名余の留学生が学びに来ています。そんな留学生たちと気軽に交流できる場の一つが、「にほんごカフェSakura」です。留学生との会話を通じてお互いの理解が深まり，留学生にとっては日本語の練習にもなっています。「お菓子の日」や「ミニコンサート」などのイベントもあります。是非，のぞいてみてください。

日時：毎週月曜日&木曜日 16時20分～17時20分

場所：一般教育棟A棟別館 1階 L-café 内

(4) 語学演習室兼自習室を利用する

語学能力のスキルアップ支援施設として，語学演習室兼自習室を設置しています。

語学演習室兼自習室 一般教育棟A棟1F▼



利用時間 8:00～20:00

7-6 授業評価アンケート

このアンケートは，授業担当教員が受講学生とともに，授業をより良いものに改善していくことを目的として実施しています。アンケートは，学期末に実施されますので，ご協力をお願いします。

アンケートの集計結果（教養教育科目（ガイダンス科目を除く））については，岡山大学教育開発センターホームページに掲載されるとともに学務企画課教育支援グループおよび各学部教務学生窓口で閲覧することができます。

■教育開発センターホームページ

<http://cfd.cc.okayama-u.ac.jp/> → 「授業評価アンケート集計結果（学内限定）」